

**第1日目** 6月6日(木) **第1会場** 1F メインホール**教育講演 1**

9:00~11:00

**アトピー性皮膚炎の病態理解のアップデート** オーガナイザー：佐伯 秀久（日本医大）  
本田 哲也（浜松医大）

[レベル：Advanced]

9:00~9:02 はじめに

**EL1-1. アトピー性皮膚炎における2型炎症の理解**9:02~9:31 本田 哲也〈ほんだ てつや〉  
浜松医科大学皮膚科**EL1-2. 痒みの分子機序**9:31~10:00 石氏 陽三〈いしうじ ようぞう〉  
東京慈恵会医科大学皮膚科学講座**EL1-3. 精密医療の実現に向けた、アトピー性皮膚炎の層別化**10:00~10:29 川崎 洋<sup>1,2)</sup>〈かわさき ひろし〉  
理化学研究所生命医科学研究センター免疫器官形成研究チーム<sup>1)</sup>,  
慶應義塾大学医学部皮膚科<sup>2)</sup>**EL1-4. アトピー性皮膚炎と皮膚マイクロバイーム**10:29~10:58 松岡 悠美〈まつおか ゆうみ〉  
大阪大学免疫学フロンティア研究センター皮膚アレルギー生体防御

10:58~11:00 まとめ

**特別講演 1**

12:20~13:00

座長：宮地 良樹（静岡社会健康医学大学院大/京都大名誉教授）

**SL1. コラーゲン特異的分子シャペロン Hsp47 のこれまで、そして今**永田 和宏<sup>1,2,3)</sup>〈ながた かずひろ〉  
JT生命誌研究館館長<sup>1)</sup>, 京都大学名誉教授<sup>2)</sup>, 京都産業大学名誉教授<sup>3)</sup>**特別講演 2**

13:00~13:40

座長：藤本 学（大阪大）

**SL2. オートファジー：疾患と老化に対抗する細胞の守護者**吉森 保〈よしもり たもつ〉  
大阪大学大学院医学系研究科遺伝学/生命機能研究科細胞内膜動態研究室

**令和6年度 Master of Dermatology(Maruho)授賞式・受賞記念講演 13:40～14:00**

座長：天谷 雅行（慶應義塾大）

**マルホ. EB ウイルス関連皮膚疾患の病態解明：症例から学んだ新たな疾患スペクトラム**

岩月 啓氏<sup>1,2)</sup> 〈いわつき けいじ〉  
福島労災病院<sup>1)</sup>，岡山大学名誉教授<sup>2)</sup>

**教育講演 10 14:10～16:10**

**皮膚科AI/遠隔診療/オンライン診療の今 ……オーガナイザー：藤本 学（大阪大）  
藤澤 康弘（愛媛大）**

[レベル：Basic／Advanced]

**EL10-1. オンライン診療の法的規制と方向性**

14:10～14:40 古田 淳一 〈ふるた じゅんいち〉  
筑波大学医学医療系医療情報マネジメント学

**EL10-2. 遠隔診療～皮膚科の現状と今後の課題・展望**

14:40～15:10 川端 康浩 〈かわばた やすひろ〉  
川端皮膚科クリニック

**EL10-3. 皮膚科領域を主とした医用画像解析における AI 技術の現状**

15:10～15:40 小島 要 〈こじま かなめ〉  
東北大学東北メディカル・メガバンク機構

**EL10-4. 皮膚科 AI の事業化に向けた取り組み—内閣府 BRIDGE 事業—**

15:40～16:10 志藤 光介<sup>1,2,3,6)</sup> 〈しどう こうすけ〉，小島 要<sup>4)</sup>，田所 龍<sup>5)</sup>，浅野 善英<sup>3)</sup>，  
藤澤 康弘<sup>6)</sup>  
株式会社Athnomedical<sup>1)</sup>，青葉通り一番町形成外科皮膚科クリニック<sup>2)</sup>，  
東北大学大学院医学系研究科皮膚科<sup>3)</sup>，東北メディカル・メガバンク機構<sup>4)</sup>，  
東北大学医学部医学科<sup>5)</sup>，愛媛大学大学院医学系研究科皮膚科<sup>6)</sup>

第1日目 6月6日(木) 第2会場 1F さくら

**教育講演 2** 9:00～11:00

**痒疹～基礎から臨床まで～** .....オーガナイザー：佐藤 貴浩（防衛医大）  
谷崎 英昭（関西医大）

[レベル：Basic／Advanced]

- EL2-1. 痒みの基礎知識**  
 9:00～9:30 富永 光俊〈とみなが みつとし〉  
 順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所順天堂かゆみ研究センター
- EL2-2. 痒疹の病態 up to date**  
 9:30～10:00 中溝 聡<sup>12)</sup>〈なかみぞ さとし〉  
 京都大学大学院医学研究科先端医療基盤共同研究講座<sup>1)</sup>，  
 京都大学大学院医学研究科皮膚科<sup>2)</sup>
- EL2-3. 実践したい痒疹に対する外用療法などの工夫**  
 10:00～10:30 安部 正敏〈あべ まさとし〉  
 医療法人社団廣仁会札幌皮膚科クリニック
- EL2-4. 免疫学的観点から新規全身療法を考える**  
 10:30～11:00 宇賀神つかさ<sup>12)</sup>〈うがじん つかさ〉  
 日本赤十字社武蔵野赤十字病院皮膚科<sup>1)</sup>，東京医科歯科大学皮膚科<sup>2)</sup>

**ランチョンセミナー 1** 11:15～12:15

**HAE（遺伝性血管性浮腫）におけるC1インヒビター補充治療の意義**  
 .....座長：名嘉眞武國（久留米大）

- LS1-1. HAEの病型を踏まえた包括的臨床マネジメント**  
 秀 道広〈ひで みちひろ〉  
 地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院
- LS1-2. 患者も納得して取り組める！実臨床で役立つHAE診断，治療，フォローアップ**  
 山上 啓子〈やまがみ けいこ〉  
 大阪市立総合医療センター総合診療内科

共催：CSL ベーリング株式会社

## 主催校企画 2

12:20～13:40

先生の学生講義間かせてください！ .....座長：神戸 直智（京都大）

### SP2-1. 学生が聞いてくれる皮膚科講義の工夫

山本 明美 〈やまもと あけみ〉

旭川医科大学

### SP2-2. 紫外線の良いところと悪いところ

森田 明理 〈もりた あきみち〉

名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学

## 教育講演 11

14:10～16:10

### 接触皮膚炎診療アップデート

.....オーガナイザー：山中 恵一（三重大）

矢上 晶子（藤田医大ばんだね病院総合アレルギー科）

[レベル：Basic／Advanced]

14:10～14:16 **イントロダクション**

#### EL11-1. 接触皮膚炎の免疫学的病態

14:16～14:43 本田 哲也 〈ほんだ てつや〉

浜松医科大学皮膚科

#### EL11-2. 化粧品によるアレルギー性接触皮膚炎アップデート

14:43～15:10 鈴木加余子 〈すずき かよこ〉

藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科

#### EL11-3. 医薬品によるアレルギー性接触皮膚炎アップデート

15:10～15:37 松倉 節子<sup>1,2)</sup> 〈まつくら せつこ〉

丸子中央病院<sup>1)</sup>, 横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学<sup>2)</sup>

#### EL11-4. 金属アレルギーアップデート

15:37～16:04 伊藤 明子<sup>1,2)</sup> 〈いとう あきこ〉

ながたクリニック<sup>1)</sup>, 新潟大学大学院皮膚科学分野<sup>2)</sup>

16:04～16:10 **まとめ**

## 第1日目 6月6日(木) 第3会場 2F Room A

## 教育講演 3

9:00~11:00

ウイルス感染症のガイドラインupdate …オーガナイザー：浅田 秀夫（奈良県立医大）  
渡辺 大輔（愛知医大）

[レベル：Basic]

- EL3-1. 带状疱疹診療ガイドライン作成における課題**  
9:00~9:30 浅田 秀夫〈あさだ ひでお〉  
奈良県立医科大学皮膚科
- EL3-2. 慢性活動性 EB ウイルス病とその類縁疾患の診療ガイドライン**  
9:30~10:00 山本 剛伸<sup>1,2)</sup>〈やまもと たけのぶ〉  
川崎医科大学総合医療センター皮膚科<sup>1)</sup>，川崎医科大学皮膚科学<sup>2)</sup>
- EL3-3. 尋常性疣贅診療ガイドライン**  
10:00~10:30 川瀬 正昭〈かわせ まさあき〉  
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター皮膚科
- EL3-4. 性器ヘルペスガイドライン update**  
10:30~11:00 渡辺 大輔〈わたなべ だいすけ〉  
愛知医科大学皮膚科

## 主催校企画 3

14:10~16:10

Meet legends in Global Dermatology ……………座長：天谷 雅行（慶應義塾大）  
椋島 健治（京都大）

- SP3-1. What's New in Pigmentary Disorders**  
14:10~14:40 Seemal R. Desai<sup>1,2,3)</sup>  
President, American Academy of Dermatology<sup>1)</sup>，Founder & Medical Director,  
Innovative Dermatology<sup>2)</sup>，Department of Dermatology, The University of Texas  
Southwestern Medical Center, Dallas, Texas, USA<sup>3)</sup>
- SP3-2. Lessons from my career in medical research : how to succeed without being smart**  
14:40~15:10 John R. Stanley  
Department of Dermatology, University of Pennsylvania, Philadelphia, USA
- SP3-3. Risk of cancer and opportunistic infections : JAK inhibitors versus biologics**  
15:10~15:40 Martin Röcken  
Department of Dermatology, Eberhard Karls Universität Tübingen, Germany
- SP3-4. How failure can lead to a career in scientific dermatology**  
15:40~16:10 Alexander Enk  
Department of Dermatology, Heidelberg University Hospital, Germany

# 第1日目 6月6日(木) 第4会場 2F Room B-1

## 教育講演 4

9:00~11:00

強皮症の病態・治療update .....オーガナイザー：浅野 善英（東北大）  
松下 貴史（金沢大）

[レベル：Advanced/Update]

- EL4-1.** ヒト検体を用いた全身性強皮症病態の基礎研究の動向  
9:00~9:30 高橋 岳浩〈たかはし たけひろ〉  
東北大学病院皮膚科
- EL4-2.** 強皮症モデルマウスを用いた基礎研究  
9:30~10:00 内山 明彦〈うちやま あきひこ〉  
群馬大学大学院医学系研究科皮膚科
- EL4-3.** 全身性強皮症の標準治療の解説（ガイドライン準拠）  
10:00~10:30 遠山 聡〈とおやま さとし〉  
東京大学医学部附属病院皮膚科
- EL4-4.** 全身性強皮症の最新治療  
10:30~11:00 渡邊 友也〈わたなべ ともや〉  
横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学

## ランチョンセミナー 2

11:15~12:15

座長：山田 秀和（近畿大）

- LS2.** こんな時には十味敗毒湯～清熱剤の使い分け～  
夏秋 優〈なつあき まさる〉  
兵庫医科大学皮膚科学

共催：クラシエ薬品株式会社

## 教育講演 12

14:10～16:10

皮膚科医ならここまでカバーしたい皮膚感染症～細菌感染症，非結核性抗酸菌症，ハンセン病，真菌症～ ……………オーガナイザー：山崎 修（島根大）

常深祐一郎（埼玉医大）

[レベル：Advanced]

14:10～14:16 はじめに

**EL12-1. Panton-Valentine leukocidin (PVL) 産生黄色ブドウ球菌による再発性せつの治療**

14:16～14:43 松村 剛一〈まつむら ごういち〉

医療法人松村皮フ科

**EL12-2. 非結核性抗酸菌症：臨床から疫学まで，これだけは知っておきたいポイント +α**

14:43～15:10 四津 里英<sup>1,2)</sup>〈よつ りえ〉

Tulane School of Public Health and Tropical Medicine<sup>1)</sup>,

国立国際医療研究センター病院皮膚科<sup>2)</sup>

**EL12-3. ハンセン病—病態，診療，治療，歴史—**

15:10～15:37 石井 則久〈いしい のりひさ〉

国立療養所多磨全生園

**EL12-4. 真菌の同定法**

15:37～16:04 安澤 数史〈あんざわ かずし〉

金沢医科大学皮膚科

16:04～16:10 総括

## イブニングセミナー 1

17:50～18:50

痒みのメカニズム最前線～病態から紐解く結節性痒疹治療～

……………座長：戸倉 新樹（中東遠総合医療センター）

**ES1-1. 結節性痒疹の病態解体新書**

端本 宇志〈はしもと たかし〉

防衛医科大学校皮膚科学講座

**ES1-2. 結節性痒疹の病態メカニズムから考える治療戦略**

石氏 陽三〈いしうじ ようぞう〉

東京慈恵会医科大学皮膚科学講座

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

## 第1日目 6月6日(木) 第5会場 2F Room B-2

## 一般演題 1

9:00~10:00

ウイルス・細菌・真菌感染症 .....座長：江川 形平（鹿児島大）  
荒井 利恵（中津病院）

- O1-1 (P30-9) 東京医科大学病院皮膚科におけるエムボックス症例の検討**  
中澤亜美香〈なかざわ あみか〉, 伊藤 友章, 沼田 貴史, 堺 則康,  
大久保ゆかり, 原田 和俊  
東京医科大学皮膚科学分野
- O1-2 (P31-2) 蜂窩織炎治癒過程における色調の客観的評価法の開発**  
宮田 和法<sup>1)</sup>〈みやた かずのり〉, 山上 淳<sup>2)</sup>, 竹中 祐子<sup>2)</sup>, 大貫 真依<sup>2)</sup>,  
澤柳 智明<sup>3)</sup>, 石黒 直子<sup>2)</sup>  
東京女子医科大学八千代医療センター皮膚科<sup>1)</sup>, 東京女子医科大学皮膚科<sup>2)</sup>,  
株式会社リアリニット<sup>3)</sup>
- O1-3 (P32-3) 多剤耐性 *Trichophyton rubrum* による汎発性白癬および白癬性肉芽腫**  
木村有太子<sup>1,2)</sup>〈きむら うたこ〉, 比留間政太郎<sup>2)</sup>, 加納 壘<sup>3)</sup>, 松本 忠彦<sup>2,4)</sup>,  
野口 博光<sup>2,4)</sup>, 大谷 倫子<sup>1)</sup>, 金子 高英<sup>1)</sup>, 高森 建二<sup>1)</sup>, 須賀 康<sup>1)</sup>  
順天堂大学浦安病院皮膚科<sup>1)</sup>, お茶の水真菌アレルギー研究所<sup>2)</sup>,  
帝京大学医真菌研究センター<sup>3)</sup>, のぐち皮ふ科<sup>4)</sup>
- O1-4 (P32-9) ポサコナゾールで治療した *Scedosporium aurantiacum* による深在性皮膚真菌症**  
柏田 香代<sup>1)</sup>〈かしわだ かよ〉, 野口 博光<sup>2)</sup>, 矢口 貴志<sup>3)</sup>, 浦田 和美<sup>1)</sup>,  
島田 秀一<sup>1)</sup>, 澤村創一郎<sup>1)</sup>, 牧野 雄成<sup>1)</sup>, 梶原 一亨<sup>1)</sup>, 井手尾勝政<sup>4)</sup>, 福島 聡<sup>1)</sup>  
熊本大学<sup>1)</sup>, のぐち皮ふ科<sup>2)</sup>, 千葉大学真菌医学研究センター<sup>3)</sup>, 熊本大学整形外科<sup>4)</sup>
- O1-5 (P34-1) 抗 NXP-2 抗体陽性皮膚筋炎症例に発症した播種性糞線虫症**  
石川 桐子〈いしかわ きりこ〉, 宮城 拓也, 高橋 健造  
琉球大学病院皮膚科
- O1-6 (P31-3) 若年女性の腋窩に皮下腫瘤を形成した放線菌症の1例**  
手塚 純子<sup>1)</sup>〈てづか じゅんこ〉, 太田 美貴<sup>1)</sup>, 石合 誠<sup>1)</sup>, 野々山翔子<sup>1)</sup>,  
田邊 洋<sup>1)</sup>, 金森 直美<sup>2)</sup>, 住吉 真治<sup>2)</sup>, 阿部 教行<sup>3)</sup>, 福本 隆也<sup>4)</sup>  
天理よろづ相談所病院皮膚科<sup>1)</sup>, 天理よろづ相談所病院病理診断部<sup>2)</sup>,  
天理よろづ相談所病院臨床検査部<sup>3)</sup>, 福本皮膚病理診断科<sup>4)</sup>
- O1-7 (P32-10) 慢性肥厚性カンジダ症を契機に STAT1 機能獲得型変異が判明した慢性皮膚粘膜カンジダ症の1例**  
筒井久美子<sup>1,2)</sup>〈つつい くみこ〉, 山北 高志<sup>1)</sup>, 黒田 茉奈<sup>3)</sup>, 相澤 貴子<sup>3)</sup>,  
杉浦 一充<sup>1)</sup>  
藤田医科大学皮膚科学<sup>1)</sup>, 刈谷豊田総合病院皮膚科<sup>2)</sup>, 藤田医科大学歯科・口腔外科<sup>3)</sup>
- O1-8 (P32-13) 広範囲に局面を形成した *Trichophyton rubrum* による深在性皮膚真菌症の1例**  
荒木 健<sup>1)</sup>〈あらか たけし〉, 遠藤 雪恵<sup>1)</sup>, 山崎咲保里<sup>1)</sup>, 渋谷 弥生<sup>1)</sup>,  
茂木精一郎<sup>1)</sup>, 安澤 数史<sup>2)</sup>, 竹田 公信<sup>2)</sup>, 清水 晶<sup>2)</sup>  
群馬大学大学院医学系研究科皮膚科<sup>1)</sup>, 金沢医科大学皮膚科<sup>2)</sup>



上皮性腫瘍, 神経系腫瘍 ..... 座長: 工藤比等志 (尼崎総合医療センター)  
遠藤雄一郎 (京都大)

**O2-1 (P25-1) ALPK1 に変異を伴う multiple linear spiradenoma の 1 例**

古河裕紀子<sup>1)</sup> (ふるかわ ゆきこ), 古賀 文二<sup>1)</sup>, 大山 拓人<sup>2)</sup>, 古賀 佳織<sup>3)</sup>,  
高木 誠治<sup>2)</sup>, 今福 信一<sup>1)</sup>

福岡大学医学部皮膚科学教室<sup>1)</sup>, 福岡大学医学部形成外科<sup>2)</sup>, 福岡大学病院病理部<sup>3)</sup>

**O2-2 (P25-2) がん遺伝子パネル検査結果と免疫組織学的検討による乳房外パジェット病の遺伝子変異の意義の考察**

岩澤 億斗 (いわさわ おくと), 住田 隼一, 盛田 紘有, 齊藤日向子,  
大森 一星, 淡路健太郎, 尾松 淳, 山田 大資, 宮川 卓也, 佐藤 伸一  
東京大学皮膚科

**O2-3 (P25-5) 演題取下げ**

**O2-4 (P25-6) 乳房外パジェット病におけるトレフォイルファクター (TFF) 1 および 3 発現の病理組織学的検討**

小林 研太<sup>1)</sup> (こばやし けんた), 平井 郁子<sup>1)</sup>, 堀川 弘登<sup>1)</sup>, 足立 剛也<sup>1)</sup>,  
中村 善雄<sup>1)</sup>, 福田桂太郎<sup>1)</sup>, 岩田 卓<sup>2)</sup>, 天谷 雅行<sup>1)</sup>, 船越 建<sup>1)</sup>  
慶應義塾大学皮膚科<sup>1)</sup>, 慶應義塾大学産婦人科<sup>2)</sup>

**O2-5 (P25-4) 当科で経験した乳房パジェット病 55 例の臨床的検討**

勝海 洸司<sup>1,2)</sup> (かつうみ こうじ), 北山 祥平<sup>1,3)</sup>, 高塚 純子<sup>1)</sup>, 竹之内辰也<sup>1)</sup>,  
五十嵐麻由子<sup>4)</sup>, 神林智寿子<sup>4)</sup>, 金子 耕司<sup>4)</sup>  
新潟県立がんセンター新潟病院皮膚科<sup>1)</sup>, 新潟大学皮膚科<sup>2)</sup>, 富山大学皮膚科<sup>3)</sup>,  
新潟県立がんセンター新潟病院乳腺外科<sup>4)</sup>

**O2-6 (P25-37) HPV42 が検出された Digital Papillary Adenocarcinoma の 1 例**

今崎 克也<sup>1)</sup> (いまざき かつや), 堀井 幹喜<sup>1)</sup>, 清水 恭子<sup>1)</sup>, 大石 京介<sup>1)</sup>,  
前田進太郎<sup>1)</sup>, 小村 一浩<sup>2)</sup>, 安澤 数史<sup>3)</sup>, 清水 晶<sup>3)</sup>, 松下 貴史<sup>1)</sup>  
金沢大学医薬保健研究域医学系皮膚分子病態学<sup>1)</sup>, 金沢赤十字病院皮膚科<sup>2)</sup>,  
金沢医科大学皮膚科<sup>3)</sup>

**O2-7 (P4-3) 下腹部に生じた Sweat-gland carcinoma with neuroendocrine differentiation の 1 例**

篠田 進 (しのだすすむ), 小川 浩平, 中川 穂香, 南 有紀, 有馬 亜衣,  
濱田 健吾, 宮川 史, 新熊 悟, 浅田 秀夫  
奈良県立医科大学皮膚科

**O2-8 (P26-6) 神経線維腫症 1 型を伴わない患者に発症した ANNUBP の 1 例**

三谷のりこ (みたに のりこ), 国本 佳代, 西山 幸佑, 山本 有紀, 神人 正寿  
和歌山県立医科大学附属病院皮膚科

## ランチョンセミナー 3

11:15~12:15

## レーザーとRFによる皮膚科疾患治療と美容への応用

.....座長：川田 暁（寺田萬寿病院）

## LS3-1. ざ瘡治療におけるニードル RF 治療の実際

鼻岡 佳子〈はなおか けいこ〉

鼻岡けいこ皮膚科クリニック

LS3-2. フラクショナル CO<sub>2</sub>レーザーを用いた rejuvenation・ざ瘡後癬痕治療

中野 俊二〈なかの しゅんじ〉, 原 葉子, 川村みゆき, 堀川 永子

医療法人中野会中野医院

共催：Jeisys Medical Japan 株式会社

## 一般演題 6

14:10~15:10

治療薬・治療法 .....座長：十一 英子（京都医療センター）  
益田 浩司（京都府立医大）

## O6-1 (P5-24) Dupilumab のアトピー性皮膚炎, 結節性痒疹, 慢性特発性蕁麻疹の痒みに対する効果

石氏 陽三<sup>1)</sup>〈いしうじ ようぞう〉, G Yosipovitch<sup>2)</sup>, BS Kim<sup>3)</sup>, Maurer M<sup>4)</sup>,Koo J<sup>5)</sup>, Chen Z<sup>6)</sup>, Wiggins S<sup>7)</sup>, J Zahn<sup>6)</sup>, Sugerman P<sup>7)</sup>, Cyr S<sup>6)</sup>東京慈恵会医科大学<sup>1)</sup>, マイアミ大学<sup>2)</sup>, マウントサイナイ医科大学<sup>3)</sup>,シャルテ-ベルリン医科大学<sup>4)</sup>, カリフォルニア大学<sup>5)</sup>, リジェネロン<sup>6)</sup>, サノフィ<sup>7)</sup>

## O6-2 (P5-23) アトピー性皮膚炎外用薬デルゴシチニブとジファミラストの症状改善因子の説明可能 AI による解析

石川 哲朗<sup>1,2,3)</sup>〈いしかわ てつお〉, 芦崎 晃一<sup>1,2)</sup>, 野村 有子<sup>1)</sup>野村皮膚科医院<sup>1)</sup>, 理化学研究所情報統合本部先端データサイエンスプロジェクト<sup>2)</sup>,慶應義塾大学医学部石井・石橋記念講座（拡張知能医学）<sup>3)</sup>

## O6-3 (P5-18) タピナロフの薬理学的特性と皮膚炎モデルにおける有効性

浦島 利樹<sup>1)</sup>〈うらしま としき〉, 勝田 佳明<sup>1)</sup>, 吉内 裕美<sup>1)</sup>, 海老原 伸<sup>1)</sup>,篠崎 雄一<sup>1)</sup>, 加藤 知子<sup>1)</sup>, 島寄 大志<sup>2)</sup>, 安井 雄三<sup>2)</sup>, 米良 泰子<sup>1)</sup>, 小西 典子<sup>1)</sup>日本たばこ産業生物研究所<sup>1)</sup>, 日本たばこ産業安全性研究所<sup>2)</sup>

## O6-4 (P5-25) マウスの自己搔破による皮膚損傷に対する Difamilast の改善作用

有近 直也<sup>1)</sup>〈ありちか なおや〉, 中島 貴子<sup>2)</sup>, 山下 大輔<sup>1)</sup>, 柴森 雅文<sup>2)</sup>,田中 正貴<sup>2)</sup>, 日山 英孝<sup>1)</sup>大塚製薬株式会社先端創薬研究所<sup>1)</sup>, 大塚製薬株式会社創薬基盤研究所<sup>2)</sup>

## O6-5 (P5-32) 名古屋市立大学病院皮膚科（光線治療センター）における生物学的製剤登場前後の光線療法の推移

渡邊 大起〈わたなべ おおき〉, 山本 礼, 西村 香奈, 榎本 由季,

金山 佳史, 櫻井 麻衣, 森田 明理

名古屋市立大学

- O6-6 (P5-3) アトピー性皮膚炎患者でのバリシチニブ反応性予測因子：ベースラインの体表面積と痒み重症度**  
 乃村 俊史<sup>1)</sup> 〈のむら としふみ〉, Jacob P. Thyssen<sup>2)</sup>, Marjolein de Bruin-Weller<sup>3)</sup>, Susanne Grond<sup>4)</sup>, Chunyuan Liu<sup>5)</sup>, 板倉 仁枝<sup>6)</sup>, Thomas Bieber<sup>7,8)</sup>  
 筑波大学医学医療系<sup>1)</sup>, University of Copenhagen<sup>2)</sup>, UMC Utrecht<sup>3)</sup>, Eli Lilly<sup>4)</sup>, Tigermed-BDM Inc<sup>5)</sup>, 日本イーライリリー<sup>6)</sup>, University Hospital Bonn<sup>7)</sup>, CK-CARE<sup>8)</sup>
- O6-7 (P5-11) 化膿性汗腺炎に対するビメキズマブの有効性と安全性：第3相試験併合解析**  
 藤田 英樹<sup>1)</sup> 〈ふじた ひでき〉, Christos Zouboulis<sup>2)</sup>, Alice Gottlieb<sup>3)</sup>, Seth Forman<sup>4)</sup>, Jamie Weisman<sup>5)</sup>, Jacek Szepietowski<sup>6)</sup>, Errol Prens<sup>7)</sup>, Pratiksha Dohke<sup>8)</sup>, Robert Roller<sup>8)</sup>, Alexa Kimball<sup>9)</sup>  
 日本大学医学部板橋病院皮膚科学分野<sup>1)</sup>, Brandenburg Medical School, Germany<sup>2)</sup>, The Icahn School of Medicine at Mount Sinai, USA<sup>3)</sup>, ForCare Clinical Research, USA<sup>4)</sup>, Medical Dermatology Specialists, Inc., USA<sup>5)</sup>, Wroclaw Medical University, Poland<sup>6)</sup>, Erasmus University Medical Center, The Netherlands<sup>7)</sup>, UCB, Belgium<sup>8)</sup>, Beth Israel Deaconess Medical Center and Harvard Medical School, USA<sup>9)</sup>
- O6-8 (P5-22) 照度の異なる2つのエキシマ治療器における紅斑反応の違い～reciprocity lawの再考～**  
 外川 八英<sup>1)</sup> 〈とがわ やえい〉, 川島 秀介<sup>2)</sup>, 長井 万恵<sup>3)</sup>, 川崎 洋平<sup>4,5)</sup>, 猪爪 隆史<sup>2)</sup>, 松江 弘之<sup>2)</sup>  
 千葉大学医学部附属病院皮膚科<sup>1)</sup>, 千葉大学大学院医学研究院皮膚科学<sup>2)</sup>, 群馬大学食健康科学教育研究センター<sup>3)</sup>, 千葉大学医学部附属病院臨床試験部<sup>4)</sup>, 日本赤十字看護大学看護学部<sup>5)</sup>

## 一般演題 7

15:10～16:10

湿疹・紅皮症 ..... 座長：吉川 義顕（北野病院）  
 清水平ちひろ（音羽病院）

- O7-1 (P6-5) 成人アトピー性皮膚炎を対象とした amltelimab の有効性及び安全性の検討：STREAM-AD 試験 24 週解析**  
 片岡 葉子<sup>1,2)</sup> 〈かたおか ようこ〉, S Weidinger<sup>2)</sup>, A Blauvelt<sup>2)</sup>, K Papp<sup>2)</sup>, A Reich<sup>2)</sup>, CH Lee<sup>2)</sup>, M Worm<sup>2)</sup>, C Lynde<sup>2)</sup>, P Foley<sup>2)</sup>, C Bernigaud<sup>2)</sup>  
 大阪はびきの医療センター<sup>1)</sup>, Amltelimab study group<sup>2)</sup>
- O7-2 (P6-8) アトピー性皮膚炎における Rocatinlimab の第 2b 相臨床試験データ**  
 高橋 英俊<sup>1)</sup> 〈たかはし ひでとし〉, 梶島 健治<sup>2)</sup>, 井川 健<sup>3)</sup>, Ehsanollah Esfandiari<sup>4)</sup>, Emma Guttman-Yassky<sup>5)</sup>  
 高木皮膚科診療所<sup>1)</sup>, 京都大学<sup>2)</sup>, 獨協医科大学<sup>3)</sup>, 協和キリン株式会社<sup>4)</sup>, Icahn School of Medicine at Mount Sinai<sup>5)</sup>
- O7-3 (P6-7) 好酸球/リンパ球比はウパダシチニブによるアトピー性皮膚炎の臨床徴候、痒みの改善度を反映する**  
 恩田茉莉奈<sup>1)</sup> 〈おんだ まりな〉, 萩野 哲平<sup>1)</sup>, 佐伯 秀久<sup>2)</sup>, 神田奈緒子<sup>1)</sup>  
 日本医科大学千葉北総病院皮膚科<sup>1)</sup>, 日本医科大学皮膚科<sup>2)</sup>

- O7-4 (P6-11)** 小児アトピー性皮膚炎患者を対象としたネモリズマブの国内第3相長期投与試験成績  
生駒 晃彦<sup>1)</sup>〈いこま あきひこ〉, 永野 裕子<sup>1)</sup>, 駒寄 弘<sup>1)</sup>, 勝沼 俊雄<sup>2)</sup>,  
五十嵐敦之<sup>3,4)</sup>  
マルホ株式会社<sup>1)</sup>, 東京慈恵会医科大学附属第三病院<sup>2)</sup>, NTT東日本関東病院<sup>3)</sup>,  
いがらし皮膚科東五反田<sup>4)</sup>
- O7-5 (P6-13)** 日本人アトピー性皮膚炎患者を対象としたタピナロフクリーム第3相試験  
辻 学<sup>2)</sup>〈つじ がく〉, 五十嵐敦之<sup>3)</sup>, 深澤 秀一<sup>4)</sup>, 村田 竜清<sup>4)</sup>, 山根 智史<sup>4)</sup>  
九州大学病院油症ダイオキシン研究診療センター<sup>1)</sup>, 九州大学病院皮膚科<sup>2)</sup>,  
いがらし皮膚科東五反田<sup>3)</sup>, 日本たばこ産業株式会社<sup>4)</sup>
- O7-6 (P6-21)** アトピー性皮膚炎患者におけるデュピルマブ関連顔面紅斑へのメトロニダゾール外用療法  
の効果  
石川 優人〈いしかわ ゆうと〉, 畑 明人, 橋爪 秀夫  
磐田市立総合病院皮膚科
- O7-7 (P6-6)** コカミドプロピルベタインによる頭部・顔面皮膚炎の8例  
飯島 茂子<sup>1,2)</sup>〈いいじま しげるこ〉, 村山 佳代<sup>1)</sup>, 高山 典子<sup>1)</sup>, 杉山真理子<sup>3,4)</sup>,  
松永佳世子<sup>3,4)</sup>  
はなみずきクリニック<sup>1)</sup>, 龍ヶ崎済生会病院皮膚科<sup>2)</sup>,  
藤田医科大学医学部アレルギー疾患対策医療学<sup>3)</sup>, 一般社団法人SSCI-Net<sup>4)</sup>
- O7-8 (P6-24)** JAK阻害薬投与後にIgE, TARC値が著増し, 二次無効となったアトピー性皮膚炎の3例  
村田 智孝〈むらた ともたか〉, 浅井 知佳, 渡邊 裕子, 荒川 遥,  
頼母木まゆ美, 永山貴紗子, 高村 直子, 山口 由衣  
横浜市立大学附属病院皮膚科

## イブニングセミナー 2

17:50~18:50

聞いておきたい! 皮膚トラブルのメカニズムと治療 …座長: 佐伯 秀久 (日本医大)

### ES2-1. 皮膚炎における血小板活性化因子 (PAF) の役割

峠岡 理沙〈みねおか りさ〉

京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学

### ES2-2. 蕁麻疹の治療戦略~抗ヒスタミン薬の薬剤選択~

鎌田 昌洋〈かまた まさひろ〉

帝京大学医学部皮膚科

共催: 田辺三菱製薬株式会社/帝國製薬株式会社

第1日目
6月6日(木)
第6会場
1F Room D

教育講演 5
9:00~11:00

**皮膚科サブスペシャルティのエッセンシャルと最先端**

.....オーガナイザー：須賀 康（順天堂大浦安病院）  
清原 隆宏（関西医大総合医療センター）

[レベル：Advanced]

- EL5-1. 美容皮膚科・レーザー指導専門医を目指して**  
 9:00~9:30 山本 有紀〈やまもと ゆき〉  
 和歌山県立医科大学医学部皮膚科
- EL5-2. 最近の美容皮膚科領域の話題**  
 9:30~10:00 尾見 徳弥〈おみ とくや〉  
 クイーンズスクエアメディカルセンター皮膚科
- EL5-3. 皮膚悪性腫瘍指導専門医としての固形癌診療のエッセンシャル**  
 10:00~10:30 安田 正人〈やすだ まさひと〉  
 群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学
- EL5-4. 大阪市立総合医療センターでのリンパ腫診療**  
 10:30~11:00 楠谷 尚〈くすたに なお〉  
 大阪市立総合医療センター皮膚科

ランチョンセミナー 4
11:15~12:15

**アトピー性皮膚炎の病態メカニズムに関する最新の話題**

.....座長：椛島 健治（京都大）  
猪又 直子（昭和大）

- LS4-1. アトピー性皮膚炎における好塩基球の役割**  
 三宅 健介〈みやけ けんすけ〉  
 東京医科歯科大学高等研究院炎症・感染・免疫研究室
- LS4-2. 皮膚バリア機能に着目したアトピー性皮膚炎の病態と治療戦略**  
 福本 毅〈ふくもと たけし〉  
 神戸大学大学院医学研究科内科系講座皮膚科学教室

共催：大塚製薬株式会社 メディカル・アフェアーズ部

## スポンサードシンポジウム 1

14:10～16:10

アトピー性皮膚炎の最新治療 ..... 座長：加藤 則人（京都府立医大）  
阿部理一郎（新潟大）

SSY1-1. アトピー性皮膚炎の治療 ～これまでとこれから～  
長期寛解維持におけるレプリキズマブへの期待  
中原 剛士 〈なかはら たけし〉  
九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野

SSY1-2. **New Opportunity for AD Treatment - Targeting IL-13 with Lebrikizumab**  
Thomas Bieber<sup>1,2)</sup>

Medicine Programs at the Kühne-Foundation, Medicine Campus Davos, Switzerland<sup>1)</sup>,  
Bieber Dermatology Consulting, Bonn, Germany<sup>2)</sup>

SSY1-3. アトピー性皮膚炎の全身療法におけるレプリキズマブの位置づけ  
～国内臨床試験の結果から～  
井川 健 〈いがわ けん〉  
獨協医科大学医学部皮膚科学講座  
ディスカッション

共催：日本イーライリリー株式会社

## イブニングセミナー 3

17:50～18:50

アトピー性皮膚炎 UP TO DATE ..... 座長：大槻マミ太郎（自治医大）  
山中 恵一（三重大）

ES3-1. アトピー性皮膚炎の外用療法を再考する  
神谷 浩二 〈かみや こうじ〉  
自治医科大学皮膚科学講座

ES3-2. アトピー性皮膚炎発症と皮膚バリアー細菌叢の相互作用—予防法確立に向けた研究—  
松岡 悠美 〈まつおか ゆうみ〉  
大阪大学免疫学フロンティア研究センター皮膚アレルギー生体防御

共催：鳥居薬品株式会社



第1日目 6月6日(木) 第7会場 1F Room E

**教育講演 6** 9:00~11:00

**皮膚病理を学ぼう！：皮膚病理をいかにして学んだら良いか**

.....オーガナイザー：安齋 真一（ピーシーエルジャパン）  
鶴田 大輔（大阪公立大）

[レベル：Basic]

- EL6-1. 皮膚病理を学ぼう！：総論**  
 9:00~9:30 安齋 真一〈あんさい しんいち〉  
 PCL Japan飯田橋病理・細胞診センター
- EL6-2. 皮膚病理を学ぼう！：大学の医局で**  
 9:30~9:55 後藤 寛之〈ごとう ひろゆき〉  
 大阪公立大学医学部皮膚病態学
- EL6-3. 学び直しの皮膚病理**  
 9:55~10:20 武藤 律子〈むとう りつこ〉  
 地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立広尾病院皮膚科
- EL6-4. 皮膚病理を学ぼう！：学会、勉強会などで**  
 10:20~10:45 小川 浩平〈おがわ こうへい〉  
 奈良県立医科大学皮膚科学教室
- EL6-5. Are you a dermatopathologist, or pathologist? Dermatologist?**  
 10:45~11:00 馬場 裕子〈ばば ゆうこ〉  
 東京歯科大学市川総合病院

**教育実習セミナー『皮膚病理』『メラノサイト系腫瘍』** 14:10~16:10

オーガナイザー：種瀬 啓士（東邦大大森病院）  
高井 利浩（兵庫県立がんセンター）

- ETS1-1. メラノサイト系良性腫瘍**  
 高井 利浩〈たかい としひろ〉  
 兵庫県立がんセンター皮膚科
- ETS1-2. メラノサイト系腫瘍（悪性）**  
 皆川 茜〈みながわ あかね〉  
 信州大学皮膚科

## 第1日目 6月6日(木) 第8会場 1F Room C-1

## 一般演題 3

9:00~10:00

母斑・リンパ腫・悪性腫瘍 ..... 座長：木庭 幸子（信州大）  
八木 洋輔（大阪赤十字病院）

- O3-1 (P29-9) IL-12 発現型がん治療用ウイルスを用いた悪性黒色腫に対する革新的なウイルス免疫療法の開発**  
松本 和彦<sup>1)</sup>〈まつもと かずひこ〉, 奥山 隆平<sup>2)</sup>, 古賀 弘志<sup>2)</sup>, 中村 謙太<sup>2)</sup>,  
芦田 敦子<sup>1)</sup>, 田中 実<sup>3)</sup>, 藤堂 具紀<sup>3)</sup>  
信州大学医学部附属病院臨床研究支援センター<sup>1)</sup>, 信州大学医学部皮膚科<sup>2)</sup>,  
東京大学医科学研究所先端がん治療分野<sup>3)</sup>
- O3-2 (P21-2) 名古屋市立大学病院にて光線検査を実施した患者 87 例の検討**  
山本 礼〈やまもと あや〉, 榎本 由季, 渡邊 大起, 金山 佳史, 櫻井 麻衣,  
森田 明理  
名古屋市立大学医学部加齢環境皮膚科学
- O3-3 (P29-3) 進行期メラノーマ治療におけるニボルマブ・PAI-1 阻害薬療法の安全性・有効性の検討：最終報告**  
藤村 卓<sup>1)</sup>〈ふじむら たく〉, 吉野 公二<sup>2)</sup>, 加藤 裕史<sup>3)</sup>, 福島 聡<sup>4)</sup>,  
藤澤 康弘<sup>5)</sup>, 石月翔一郎<sup>6)</sup>, 大塚 篤司<sup>7)</sup>, 松下 茂人<sup>8)</sup>, 神林 由美<sup>1)</sup>, 浅野 善英<sup>1)</sup>  
東北大学皮膚科学<sup>1)</sup>, がん研有明皮膚腫瘍科<sup>2)</sup>, 名古屋市立大学皮膚科<sup>3)</sup>,  
熊本大学皮膚科<sup>4)</sup>, 愛媛大学皮膚科<sup>5)</sup>, 筑波大学皮膚科<sup>6)</sup>, 近畿大学皮膚科<sup>7)</sup>,  
鹿児島医療センター皮膚腫瘍科<sup>8)</sup>
- O3-4 (P22-1) ハイパードライヒト羊膜 (HD 羊膜) の皮膚軟部組織欠損創/3 度熱傷に対する効果**  
吉田 淑子<sup>1)</sup>〈よしだ としこ〉, 天野 浩司<sup>2)</sup>, 白井 章浩<sup>2)</sup>, 安原裕美子<sup>3)</sup>,  
吉田 一晴<sup>4)</sup>, 盛田 克子<sup>5)</sup>  
富山大学医学部臨床生体材料応用講座<sup>1)</sup>, 堺市立総合医療センター救命救急科<sup>2)</sup>,  
堺市立総合医療センター病理診断科<sup>3)</sup>, 東京理化学テクニカルセンター株式会社<sup>4)</sup>,  
医療法人社団めぐみ会杉並堀之内クリニック<sup>5)</sup>
- O3-5 (P22-6) 新時代の熱傷手術・治療戦略**  
岩田 匡祐<sup>1)</sup>〈いわた まさひろ〉, 加藤 宏典<sup>1)</sup>, 船積 雅登<sup>1)</sup>, 盛山 吉弘<sup>1)</sup>,  
石塚 俊介<sup>2)</sup>, 荒木 祐一<sup>3)</sup>, 久下 晶子<sup>3)</sup>, 阿久津智洋<sup>3)</sup>, 鈴木 啓介<sup>3)</sup>, 遠藤 彰<sup>3)</sup>  
総合病院土浦協同病院皮膚科<sup>1)</sup>, 総合病院土浦協同病院麻酔科<sup>2)</sup>,  
総合病院土浦協同病院救急集中治療科<sup>3)</sup>
- O3-6 (P27-10) 血管肉腫における予後予測因子として血小板減少の検討**  
上原 治朗<sup>1)</sup>〈うえはら じろう〉, 松崎友里江<sup>1)</sup>, 吉村 有彩<sup>1)</sup>, 豊島 梨乃<sup>1)</sup>,  
後藤 啓介<sup>3)</sup>, 河内 洋<sup>3)</sup>, 北野 滋久<sup>2)</sup>, 吉野 公二<sup>1)</sup>  
公益財団法人がん研究会有明病院皮膚腫瘍科<sup>1)</sup>,  
公益財団法人がん研究会有明病院先端医療開発科<sup>2)</sup>,  
公益財団法人がん研究会有明病院病理部<sup>3)</sup>
- O3-7 (P28-1) 当科における血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫疑い症例における予測因子の検討**  
田中 美穂〈たなか みほ〉, 宮垣 朝光, 岡野 達郎, 竹内 そら, 門野 岳史  
聖マリアンナ医科大学病院皮膚科



**O3-8 (P25-38) 有棘細胞癌に対するセンチネルリンパ節生検の有用性の検討**

松本 薫郎<sup>1)</sup>〈まつもと ゆきろう〉, 並川健二郎<sup>1)</sup>, 岸川さつき<sup>2)</sup>, 森 泰昌<sup>2)</sup>,  
 福田 朱美<sup>1)</sup>, 中山 裕一<sup>1)</sup>, 中野 英司<sup>1)</sup>, 緒方 大<sup>1)</sup>, 山崎 直也<sup>1)</sup>  
 国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科<sup>1)</sup>,  
 国立がん研究センター中央病院病理診断科<sup>2)</sup>

**一般演題 4**

10:00~11:00

**角化症・水疱症・膿疱症**……………座長：松井 美萌（武田総合病院）  
 古賀 浩嗣（久留米大）

**O4-1 (P13-17) イキセキズマブ投与後に全身性エリテマトーデスを発症した乾癬性関節炎の1例**

林 美沙<sup>1)</sup>〈はやし みさ〉, 佐藤 祥奈<sup>1)</sup>, 赤路 和哉<sup>1)</sup>, 山下千佳紗<sup>1)</sup>,  
 廣海 汐理<sup>2)</sup>, 小中 八郎<sup>2)</sup>, 高見 賢司<sup>3)</sup>, 辻 成佳<sup>4)</sup>, 東山 眞里<sup>1)</sup>  
 日本生命病院皮膚科<sup>1)</sup>, 日本生命病院呼吸器・免疫内科<sup>2)</sup>, 日本生命病院整形外科<sup>3)</sup>,  
 日本生命病院リハビリテーション科<sup>4)</sup>

**O4-2 (P13-19) COVID-19 罹患後に再燃した膿疱性乾癬**

太田 円莉<sup>1,2)</sup>〈おおた えり〉, 岡田 悦子<sup>1)</sup>, 上原 顕仁<sup>1)</sup>  
 国立病院機構高崎総合医療センター<sup>1)</sup>, 産業医科大学<sup>2)</sup>

**O4-3 (P15-5) 血漿交換療法施行後にヘパリン起因性血小板減少症を発症した水疱性類天疱瘡の2例**

宮川総一郎<sup>1)</sup>〈みやかわ そういちろう〉, 小林 英資<sup>1)</sup>, 下田由莉江<sup>1)</sup>, 倉田麻衣子<sup>1)</sup>,  
 大貫 朋也<sup>2)</sup>, 吉森 恵未<sup>2)</sup>, 若林 典弘<sup>3)</sup>, 大山 学<sup>1)</sup>  
 杏林大学医学部皮膚科学教室<sup>1)</sup>, 杏林大学医学部血液内科<sup>2)</sup>,  
 杏林大学医学部循環器内科<sup>3)</sup>

**O4-4 (P15-18) 抗PD-1/PD-L1抗体投与後に水疱性類天疱瘡を発症した4例の臨床的検討**

張野 優文〈はりの ゆあ〉, 小田 充思, 並木 剛, 沖山奈緒子  
 東京医科歯科大学病院皮膚科

**O4-5 (P15-27) 実臨床における水疱性類天疱瘡患者に対するデュピルマブの有効性および安全性**

高村さおり〈たかむら さおり〉, 中村かおり, 人見 勝博, 福田 知雄  
 埼玉医科大学総合医療センター

**O4-6 (P13-9) MEFV バリエントも汎発性膿疱性乾癬の発症因子である**

吉川 剛典<sup>1)</sup>〈よしかわ たけのり〉, 西田 一貴<sup>2)</sup>, 小林由実子<sup>2)</sup>, 杉浦 一充<sup>3)</sup>,  
 室 慶直<sup>1)</sup>, 秋山 真志<sup>1)</sup>  
 名古屋大学皮膚科<sup>1)</sup>, 名古屋大学先端医療開発部<sup>2)</sup>, 藤田医科大学皮膚科<sup>3)</sup>

**O4-7 (P13-16) 質問表とSF-36による汎発性膿疱性乾癬患者の疾病負担と背景に関する多施設共同調査研究第2報**

今福 信一<sup>1,5)</sup>〈いまふく しんいち〉, 佐藤 敦<sup>2)</sup>, 鶴田 紀子<sup>3,5)</sup>, 齋藤 盛久<sup>4)</sup>,  
 鈴木 祐子<sup>4)</sup>, 有馬 久富<sup>2)</sup>  
 福岡大学医学部皮膚科学教室<sup>1)</sup>, 福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室<sup>2)</sup>,  
 北九州市立八幡病院<sup>3)</sup>, 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社<sup>4)</sup>,  
 西日本炎症性皮膚疾患研究会<sup>5)</sup>

**O4-8 (P15-13) 表皮蛋白質に対する抗体を有したIgA天疱瘡 (intraepidermal neutrophilic type) の1例**

前島 えり〈まえじま えり〉, 木下 真直, 川村 龍吉, 島田 眞路  
 山梨大学

## ランチョンセミナー 5

11:15~12:15

座長：伊藤 泰介（浜松医大）

## LS5. ロジックで考え直す男性型脱毛症の治療：標準治療と赤色 LED を含めて

乾 重樹<sup>1,2)</sup> 〈いぬい しげき〉  
心斎橋いぬい皮膚科<sup>1)</sup>，大阪大学<sup>2)</sup>

共催：株式会社アデランス

## 一般演題 8

14:10~15:10

蕁麻疹・薬疹 .....座長：渡辺 秀晃（昭和大横浜市北部病院）  
濱 菜摘（新潟大）

## O8-1 (P8-5) 結節性痒疹 12 症例における Th2 サイトカインおよび IL-17 ファミリーの病理組織学的検討

草野美沙希 〈くさのみさき〉，伊藤 崇，山本 俊幸  
福島県立医科大学皮膚科

## O8-2 (P9-14) アポトーシス・ネクロトーシス・パイロトーシス抑制による SJS/TEN の新規医薬品の開発

日下部吉男<sup>1)</sup> 〈くさかべ よしお〉，露木 貴浩<sup>2)</sup>，長谷川瑛人<sup>3)</sup>，濱 菜摘<sup>3)</sup>，  
阿部理一郎<sup>3)</sup>，渡辺 秀晃<sup>4)</sup>  
帝京大学薬学部医療薬学講座<sup>1)</sup>，  
北海道大学大学院薬学研究院創薬科学研究教育センター<sup>2)</sup>，新潟大学大学院皮膚科<sup>3)</sup>，  
昭和大学横浜市北部病院皮膚科<sup>4)</sup>

## O8-3 (P7-10) HAE with normal C1-INH 5 家系 15 症例の診断過程と治療経過についての検討

水野 嵩彬<sup>1)</sup> 〈みずの たかあき〉，日置 千華<sup>1)</sup>，織田 好子<sup>2)</sup>，森脇 真一<sup>1)</sup>，  
福永 淳<sup>1)</sup>  
大阪医科薬科大学皮膚科<sup>1)</sup>，神戸大学医学部附属病院皮膚科<sup>2)</sup>

## O8-4 (P9-1) ヤヌスキナーゼ阻害薬開始後に発症した HHV-6 髄膜炎/辺縁系脳炎を呈した薬剤性過敏症症候群

坊地 実<sup>1)</sup> 〈ぼうちみのり〉，齊藤華奈実<sup>1)</sup>，高木 杏子<sup>1)</sup>，多田 瑞穂<sup>1,5)</sup>，  
金崎 彰三<sup>2)</sup>，佐藤 龍一<sup>3)</sup>，西田 陽登<sup>4)</sup>，児玉 尚吾<sup>6)</sup>，石井 宏治<sup>6)</sup>，波多野 豊<sup>1)</sup>  
大分大学皮膚科<sup>1)</sup>，大分大学救命救急センター<sup>2)</sup>，大分大学脳神経内科<sup>3)</sup>，  
大分大学診断病理科・病理部<sup>4)</sup>，大分赤十字病院皮膚科<sup>5)</sup>，大分赤十字病院脳神経内科<sup>6)</sup>

## O8-5 (P9-2) 抗腫瘍薬関連皮膚障害による皮膚科コンサルテーションの実態調査

北山 祥平<sup>1,2)</sup> 〈きたやま しょうへい〉，勝海 洸司<sup>1,3)</sup>，高塚 純子<sup>1)</sup>，清水 忠道<sup>2)</sup>，  
竹之内辰也<sup>1)</sup>  
新潟県立がんセンター新潟病院皮膚科<sup>1)</sup>，富山大学医学部学術研究部皮膚科<sup>2)</sup>，  
新潟大学医歯学総合病院皮膚科<sup>3)</sup>

**O8-6 (P9-23) Enfortumab vedotin による皮膚障害**  
 隈 有希<sup>1)</sup>〈くま ゆうき〉, 中原真希子<sup>1)</sup>, 冬野 洋子<sup>1)</sup>, 猪口 淳一<sup>2)</sup>,  
 小田 義直<sup>3)</sup>, 江藤 正俊<sup>2)</sup>, 中原 剛士<sup>1)</sup>  
 九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野<sup>1)</sup>,  
 九州大学大学院医学研究院形態機能病理学<sup>2)</sup>,  
 九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野<sup>3)</sup>

**O8-7 (P7-13) 亜硫酸ナトリウムによるアナフィラキシーの1例**  
 福島 有貴〈ふくしま ゆうき〉, 三井 広, 前島 えり, 富田 央澄,  
 川村 龍吉, 島田 眞路  
 山梨大学医学部皮膚科学講座

**O8-8 (P9-12) エンホルツマブ ベドチンによる水疱型薬疹**  
 谷 直実〈たに なおみ〉, 山田 七子, 吉田 雄一  
 鳥取大学皮膚科

## 一般演題 9

15:10~16:10

付属器疾患・基礎研究診断法 .....座長：夏秋 洋平（久留米大）  
 吉岡 華子（大阪大）

**O9-1 (P1-9) 高脂肪食によるアトピー性皮膚炎の増悪における腸内細菌叢の役割**  
 田端 慶斗〈たばた けいと〉, 吉田涼太郎, 篠崎 優衣, 今 理紗子, 酒井 寛泰,  
 細江 智夫, 五十嵐信智  
 星薬科大学

**O9-2 (P1-11) マスト細胞機能制御を中心とした神経線維腫の新規治療法開発—基礎的検討—**  
 山本 美佐<sup>1)</sup>〈やまもと みさ〉, 小金丸理世<sup>2)</sup>, 藤川 竣典<sup>2)</sup>, 児玉 雅季<sup>1)</sup>,  
 河野 裕夫<sup>1)</sup>  
 山口大学大学院医学系研究科病態検査学<sup>1)</sup>,  
 山口大学大学院医学系研究科生体情報検査学領域<sup>2)</sup>

**O9-3 (P1-13) MHC class I 消失以外の腫瘍免疫エスケープ機序の網羅的解析**  
 佐伯 優佳〈さえき ゆか〉, 川島 秀介, 青山 和弘, 齊藤 宜子, 及川 綾子,  
 松澤 高光, 川原 祐, 猪爪 隆史  
 千葉大学大学院医学研究院皮膚科学

**O9-4 (P1-10) 乳酸菌発酵物による皮膚メラニン合成阻害作用メカニズムの解析**  
 篠崎 優衣〈しのざき ゆい〉, 西中 ゆい, 齋藤 凜佳, 田端 慶斗, 横山 公紀,  
 今 理紗子, 酒井 寛泰, 細江 智夫, 五十嵐信智  
 星薬科大学

**O9-5 (P3-3) ImageJ を用いた光線角化症の非侵襲的治療判定法の検討**  
 重原 庸哉<sup>1)</sup>〈しげはら ようや〉, 嵩 幸恵<sup>1)</sup>, 加藤 峰幸<sup>1)</sup>, 加藤 雪彦<sup>2)</sup>  
 多摩総合医療センター皮膚科<sup>1)</sup>, 東京医科大学八王子医療センター<sup>2)</sup>

**O9-6 (P1-8) Calcitriol はアトピー性皮膚炎モデルマウスの皮膚バリア機能を改善する**  
 梅原 芳恵<sup>1)</sup>〈うめはら よしえ〉, Valentin Trujillo<sup>1)</sup>, 彭 戈<sup>1)</sup>, 岳 海楠<sup>1)</sup>,  
 奥村 康<sup>1)</sup>, 小川 秀興<sup>1)</sup>, ニヨンサバ フランソワ<sup>1,2)</sup>  
 順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター<sup>1)</sup>, 順天堂大学国際教養学部<sup>2)</sup>

**O9-7 (P1-18) 抗 TIF1 $\gamma$  抗体陽性悪性腫瘍合併皮膚筋炎における免疫レパトア解析**

春名壯一郎<sup>1,2)</sup> 〈はるな そういちろう〉, 荒瀬 規子<sup>3,4)</sup>, スタンドレー ダロン<sup>2)</sup>,  
荒瀬 尚<sup>3)</sup>, 藤本 学<sup>4,5)</sup>

大阪大学医学部附属病院初期研修医<sup>1)</sup>, 大阪大学微生物病研究所ゲノム情報解析分野<sup>2)</sup>,  
大阪大学微生物病研究所免疫化学分野<sup>3)</sup>, 大阪大学医学系研究科皮膚科学<sup>4)</sup>,  
大阪大学免疫学フロンティア研究センター皮膚免疫学<sup>5)</sup>

**O9-8 (P37-3) 下垂体炎に伴う中枢性尿崩症により生じた二次性後天性全身性無汗症の1例**

大橋 凌也<sup>1)</sup> 〈おおはし りょうや〉, 林 良太<sup>1)</sup>, 鈴木紗也佳<sup>1)</sup>, 筒井 由夏<sup>1)</sup>,  
加勢夕季乃<sup>1)</sup>, 富井 光一<sup>1)</sup>, 阿部理一郎<sup>1)</sup>, 坪口晋太郎<sup>2)</sup>, 北澤 勝<sup>3)</sup>, 曾根 博仁<sup>3)</sup>  
新潟大学皮膚科<sup>1)</sup>, 新潟大学神経内科<sup>2)</sup>, 新潟大学内分泌・代謝内科<sup>3)</sup>

**イブニングセミナー 4**

17:50~18:50

**サイトカインから考える膿疱性乾癬の病態** .....座長：金蔵 拓郎（鹿児島大）

**ES4-1. 膿疱性乾癬のサイトカインヒエラルキー～尋常性乾癬との相同異同～**

森実 真 〈もりざね しん〉

岡山大学学術研究院医歯薬学域皮膚科学分野

**ES4-2. IL-36 シグナル阻害の炎症・免疫反応への影響**

小川 陽一 〈おがわ よういち〉

山梨大学大学院医学工学総合研究部医学学域臨床医学系皮膚科学講座

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

# 第1日目 6月6日(木) 第9会場 1F Room C-2

## Oral Presentation in English 1

9:00~10:00

### Basic research, Allergic disease, Congenital disease

.....Chairs : Sayaka Shibata (The University of Tokyo)  
Takashi Sakai (Oita University)

- E1-1 (EP1-6) Imiquimod-induced oxidative stress and cell death are through p53/Nrf2 axis.**  
○Shu-Hao Chang<sup>1)</sup>, Chu-Hsuan Hsueh<sup>1)</sup>, Jeng-Jer Shieh<sup>1,2,3)</sup>  
Institute of Biomedical Sciences, National Chung Hsing University, Taichung<sup>1)</sup>,  
Department of Education and Research, Taichung Veterans General Hospital,  
Taichung<sup>2)</sup>, Rong Hsing Research Center for Translational Medicine, National Chung  
Hsing University, Taichung<sup>3)</sup>
- E1-2 (EP1-4) Analysis of antigen specificity of tumor-infiltrating B lymphocytes in TLS+ melanoma**  
○Kanta Hori<sup>1,3)</sup>, Yoshihiko Hirohashi<sup>1)</sup>, Tomoyuki Minowa<sup>2)</sup>, Kenji Murata<sup>1)</sup>,  
Hisashi Uhara<sup>2)</sup>, Toshihiko Torigoe<sup>1)</sup>  
Department of Pathology, Sapporo Medical University School of Medicine, Sapporo<sup>1)</sup>,  
Department of Dermatology, Sapporo Medical University School of Medicine,  
Sapporo<sup>2)</sup>, Department of Urology, Sapporo Kosei Hospital, Sapporo<sup>3)</sup>
- E1-3 (EP1-5) Aryl Hydrocarbon Receptor in Dorsal Root Ganglion May Involve in Histamine-induced Itching**  
○Alafate Abudouwanli<sup>1)</sup>, Ge Peng<sup>1)</sup>, Wanchen Zhao<sup>1)</sup>, Arisa Ikeda<sup>1,2)</sup>, Quan Sun<sup>1)</sup>,  
Ko Okumura<sup>1)</sup>, Shigaku Ikeda<sup>1)</sup>, Hideoki Ogawa<sup>1)</sup>, Francois Niyonsaba<sup>1,3)</sup>  
Atopy (Allergy) Research Center, Juntendo University Graduate School of Medicine,  
Tokyo<sup>1)</sup>, Department of Nephrology, Juntendo University Graduate School of  
Medicine, Tokyo<sup>2)</sup>, Faculty of International Liberal Arts, Juntendo University, Tokyo<sup>3)</sup>
- E1-4 (EP10-3) Lesion-specific Loss of Langerhans Cells in Progressive Symmetric Erythrodermia**  
○Umi Tahara<sup>1,2)</sup>, Kyoko Masuda<sup>1)</sup>, Takashi Sasaki<sup>1,3)</sup>, Kazuhiko Nakabayashi<sup>4)</sup>,  
Masayuki Amagai<sup>1)</sup>, Akiharu Kubo<sup>1,5)</sup>  
Department of Dermatology, Keio University School of Medicine, Tokyo<sup>1)</sup>, Department  
of Dermatology, Kawasaki Municipal Hospital, Kawasaki<sup>2)</sup>, Center for  
Supercentenarian Medical Research, Keio University School of Medicine, Tokyo<sup>3)</sup>,  
Department of Maternal-Fetal Biology, National Center for Child Health and  
Development, Tokyo<sup>4)</sup>, Division of Dermatology, Department of Internal Related, Kobe  
University Graduate School of Medicine, Kobe<sup>5)</sup>
- E1-5 (EP10-5) Real-World Experience of Dupilumab and JAK Inhibitors in Epidermolysis Bullosa Pruriginosa**  
○Ping-Chen Hou<sup>1)</sup>, Wilson Jr Aala<sup>2)</sup>, Wei-Ting Tu<sup>1)</sup>, John A. McGrath<sup>1,3)</sup>,  
Chao-Kai Hsu<sup>1,2,4)</sup>  
Department of Dermatology, National Cheng Kung University Hospital, College of  
Medicine, National Cheng Kung University, Tainan<sup>1)</sup>, Institute of Clinical Medicine,  
College of Medicine, National Cheng Kung University, Tainan<sup>2)</sup>, St Johns Institute of  
Dermatology, School of Basic and Medical Biosciences, Kings College London,  
London<sup>3)</sup>, International Center for Wound Repair and Regeneration, National Cheng  
Kung University, Tainan<sup>4)</sup>



- E1-6 (EP7-1) Three Phases of Pathology in Skin Eruptions of Chronic Urticaria using Mathematics**  
 ○Sungrim Seirin-Lee<sup>1,2)</sup>, Shunsuke Takahagi<sup>3)</sup>, Michihiro Hide<sup>3,4)</sup>  
 ASHBI, Kyoto University Institute for Advanced Study, Kyoto University, Kyoto<sup>1)</sup>,  
 Department of Mathematical Medicine, Graduate School of Medicine, Kyoto University,  
 Kyoto<sup>2)</sup>, Department of Dermatology, Graduate School of Biomedical and Health  
 Sciences, Hiroshima University, Hiroshima<sup>3)</sup>, Department of Dermatology, Hiroshima  
 City Hiroshima Citizens Hospital, Hiroshima<sup>4)</sup>
- E1-7 (EP7-2) Correlation of specific IgE with total IgE in atopic dermatitis patients**  
 ○Norika Akashi, Mariko Ogawa-Momohara, Tomoki Taki, Ryo Fukaura,  
 Satoshi Kamiya, Yuta Yamashita, Haruka Koizumi, Takuya Takeichi,  
 Yoshinao Muro, Masashi Akiyama  
 Department of Dermatology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya
- E1-8 (EP7-3) Real-world effectiveness of abrocitinib and transcriptome analysis in atopic dermatitis**  
 ○Mayu Ohtaka, Akihiko Uchiyama, Keiji Kosaka, Mai Ishikawa, Yuuta Inoue,  
 Sei-ichiro Motegi  
 Department of Dermatology, Gunma University, Maebashi

## Oral Presentation in English 2

10:00~11:00

Tumor .....Chairs : Taku Fujimura (Tohoku University)  
 Hayakazu Sumida (The University of Tokyo)

- E2-1 (EP9-3) Activated Akt expression has the prognostic value for relapse in acral melanomas**  
 ○Takeshi Namiki<sup>1)</sup>, Kohei Nojima<sup>1)</sup>, Masahiro Hayashi<sup>2)</sup>, Atsushi Tanemura<sup>3)</sup>,  
 Tamio Suzuki<sup>2)</sup>, Masashi Ishikawa<sup>4)</sup>, Naoya Yamazaki<sup>5)</sup>, Ichiro Katayama<sup>3)</sup>,  
 Yoshiyuki Sasaki<sup>6)</sup>, Naoko Okiyama<sup>1)</sup>  
 Department of Dermatology, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo<sup>1)</sup>,  
 Department of Dermatology, Yamagata University, Yamagata<sup>2)</sup>, Department of  
 Dermatology, Osaka University, Suita<sup>3)</sup>, Department of Dermatology, Saitama Cancer  
 Center Hospital, Kitaadachi<sup>4)</sup>, Department of Skin Oncology, National Cancer Center  
 Hospital, Tokyo<sup>5)</sup>, Clinical Dental Research Promotion Unit, Faculty of Dentistry,  
 Tokyo Medical and Dental University, Tokyo<sup>6)</sup>
- E2-2 (EP9-6) Relationship Between Tumor Thickness and Histological Invasion Level in Acral Melanoma**  
 ○Shigeru Koizumi<sup>1)</sup>, Yukiko Kiniwa<sup>2)</sup>, Tatsuya Takenouchi<sup>3)</sup>, Jun Asai<sup>4)</sup>,  
 Takuya Miyagawa<sup>5)</sup>, Takamichi Ito<sup>6)</sup>, Noriki Fujimoto<sup>7)</sup>, Shigeto Matsushita<sup>8)</sup>,  
 Yosuke Yamamoto<sup>9)</sup>, Yasuhiro Nakamura<sup>1)</sup>  
 Department of Skin Oncology/Dermatology, Saitama Medical University International  
 Medical Center, Hidaka<sup>1)</sup>, Department of Dermatology, Shinshu University School of  
 Medicine, Matsumoto<sup>2)</sup>, Department of Dermatology, Niigata Cancer Center Hospital,  
 Niigata<sup>3)</sup>, Department of Dermatology, Kyoto Prefectural University of Medicine,  
 Kyoto<sup>4)</sup>, Department of Dermatology, The University of Tokyo, Graduate School of  
 Medicine, Tokyo<sup>5)</sup>, Department of Dermatology, Graduate School of Medical Science,  
 Kyushu University, Fukuoka<sup>6)</sup>, Department of Dermatology, Shiga University of  
 Medical Science, Otsu<sup>7)</sup>, Department of Dermato-Oncology/Dermatology, NHO  
 Kagoshima Medical Center, Kagoshima<sup>8)</sup>, Department of Dermatology, Department of  
 Dermatology, Chiba University Graduate School of Medicine, Chiba<sup>9)</sup>

- E2-3 (EP9-7) KS-EMPD-1 : a novel cell line of primary extramammary Paget's disease**  
 ○Takamichi Ito, Yuka Tanaka, Toshio Ichiki, Yumiko Kaku-Ito, Takeshi Nakahara  
 Department of Dermatology, Kyushu University, Fukuoka
- E2-4 (EP9-10) Analysis of surgical margins and prognostic factors in 116 Japanese DFSP patients**  
 ○Yusuke Muto<sup>1,2)</sup>, Taku Fujimura<sup>2)</sup>, Akira Takahashi<sup>3)</sup>, Kenjiro Namikawa<sup>4)</sup>,  
 Dai Ogata<sup>4)</sup>, Eiji Nakano<sup>4)</sup>, Shunichi Jinnai<sup>3)</sup>, Akira Hashimoto<sup>2)</sup>, Asano Yoshihide<sup>2)</sup>,  
 Naoya Yamazaki<sup>4)</sup>  
 Department of Dermatology, South Miyagi Medical Center, Shibata<sup>1)</sup>, Department of  
 Dermatology, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai<sup>2)</sup>, Dermatologic  
 Oncology, National Cancer Center Hospital East, Kashiwa<sup>3)</sup>, Dermatologic Oncology,  
 National Cancer Center Hospital, Tokyo<sup>4)</sup>
- E2-5 (EP9-15) <sup>18</sup>F-FDG PET/CT Correlation with Tumor Stage in Acral Melanoma : A Retrospective Study**  
 ○Wei-Ting Liu, Yi-Han Chang, Tak-Wah Wong  
 Department of Dermatology, National Cheng Kung University Hospital, College of  
 Medicine, National Cheng Kung University, Tainan
- E2-6 (EP9-13) Experimental and clinical evidence suggests S100A7 may be involved in melanoma development**  
 ○Quan Sun<sup>1)</sup>, Ge Peng<sup>1)</sup>, Wanchen Zhao<sup>1)</sup>, Alafate Abudouwanli<sup>1)</sup>, Arisa Ikeda<sup>1,2)</sup>,  
 Ko Okumura<sup>1)</sup>, Hideoki Ogawa<sup>1)</sup>, Shigaku Ikeda<sup>1)</sup>, Francois Niyonsaba<sup>1,3)</sup>  
 Atopy (Allergy) Research Center, Juntendo University Graduate School of Medicine,  
 Tokyo<sup>1)</sup>, Department of Nephrology, Juntendo University Graduate School of  
 Medicine, Tokyo<sup>2)</sup>, Faculty of International Liberal Arts, Juntendo University, Tokyo<sup>3)</sup>
- E2-7 (EP9-16) GSDME promotes melanoma progression by regulating chromatin accessibility of PLK4**  
 ○Juan Du, Chunying Li  
 Department of Dermatology, Xijing Hospital, Fourth Military Medical University, Xi'an
- E2-8 (EP9-9) Sarcopenia is a prognostic factor in advanced BRAF wild-type malignant melanoma in Asians**  
 ○Kohei Yamakawa<sup>1)</sup>, Yusuke Kurita<sup>2)</sup>, Hideyuki Ishikawa<sup>1)</sup>, Shingo Kato<sup>2)</sup>,  
 Yukie Yamaguchi<sup>1)</sup>  
 Department of Environmental Immuno-Dermatology, Yokohama City University  
 Graduate School of Medicine, Yokohama<sup>1)</sup>, Department of Gastroenterology and  
 Hepatology, Yokohama City University School of Medicine, Yokohama<sup>2)</sup>

## ランチョンセミナー 6

11:15~12:15

座長：阿部理一郎（新潟大）

- LS6. 薬剤性過敏症症候群の病態とそのバイオマーカー**  
 浅田 秀夫〈あさだ ひでお〉  
 奈良県立医科大学皮膚科

共催：シスメックス株式会社

## Treatment, Autoimmune disease

.....Chairs : Rei Watanabe (Juntendo University)  
Takuya Takeichi (Nagoya University)

- E3-1 (EP3-9) Polydopamine nanoparticles mitigate UVB-induced skin damage via ferroptosis inhibition**  
○Yuqi Zhou<sup>1</sup>, Jia Zhang<sup>1</sup>, Zhaoting Jiang<sup>1</sup>, Bo Wang<sup>1</sup>, Qi Wang<sup>1</sup>,  
Zeqian Wang<sup>1</sup>, Mingfeng Zhang<sup>1</sup>, Ziwei Deng<sup>2</sup>, Chunying Li<sup>1</sup>, Zhe Jian<sup>1</sup>  
Department of Dermatology, Xijing Hospital Fourth Military Medical University,  
Xi'an<sup>1</sup>, Key Laboratory of Applied Surface and Colloid Chemistry, Ministry of  
Education, Shaanxi Key Laboratory for Advanced Energy Devices, Shaanxi  
Engineering Lab for Advanced Energy Technology, School of Materials Science and  
Engineering, Shaanxi Normal University, Xi'an<sup>2</sup>
- E3-2 (EP8-2) Anti-eIF2B antibody Detection by ELISA in Japanese Patients with Systemic Sclerosis**  
○Haruka Koizumi<sup>1</sup>, Yoshinao Muro<sup>1</sup>, Yuta Yamashita<sup>1</sup>, Satoshi Kamiya<sup>1</sup>,  
Norika Akashi<sup>1</sup>, Mariko Ogawa-Momohara<sup>1</sup>, Takuya Takeichi<sup>1</sup>,  
Yasuhiko Yamano<sup>2</sup>, Yasuhiro Kondoh<sup>2</sup>, Masashi Akiyama<sup>1</sup>  
Department of Dermatology, Nagoya University, Nagoya<sup>1</sup>, Department of Respiratory  
Medicine and Allergy, Tosei General Hospital, Seto<sup>2</sup>
- E3-3 (EP8-3) Inhibition of IgG Extravasation to Mucous Membranes with TKIs in a Murine Pemphigus Model**  
○Yukako (Duerna) Akamatsu (Tie)<sup>1</sup>, Takashi Nomura<sup>1,2</sup>, Kenji Kabashima<sup>1</sup>  
Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto<sup>1</sup>,  
Department of Drug Development for Intractable Diseases, Graduate School of  
Medicine, Kyoto University, Kyoto<sup>2</sup>
- E3-4 (EP8-7) The role of IL-7/IL-7R mediates stem cell-like Hobit<sup>+</sup>CD8<sup>+</sup> T<sub>RM</sub> in vitiligo recurrence**  
○Yuqian Chang, Shuli Li, Chunying Li  
Department of Dermatology, Xijing hospital, Fourth Military Medical University, Xi'an
- E3-5 (EP3-6) Objective and Subjective Assessment of Effect of Exosomes against Androgenic Alopecia**  
○Yishan Liu<sup>1</sup>, Cheuk-Kwan Sun<sup>2</sup>, Ju-Fang Wu<sup>3</sup>  
I-Shou University College of Medicine ; E-Da Hospital Department of Dermatology,  
Kaohsiung<sup>1</sup>, I-Shou University College of Medicine ; E-Da Hospital Department of  
Emergency Medicine, Ksohsiung<sup>2</sup>, Kaohsiung Municipal United Hospital Department  
of Pharmacy, Kaohsiung<sup>3</sup>
- E3-6 (EP8-5) DNA methylation analysis Reveals Epigenetic Perturbations of Vitiligo Tregs**  
○Jianru Chen, Xinju Wang, Wei Wu, Qingrong Ni, Kaiqiao He, Luling Huang,  
Weiwei Sun, Jinrong Fan, Shuli Li, Chunying Li  
Department of Dermatology, Xijing Hospital, Fourth Military Medical University, Xi'an
- E3-7 (EP8-10) Oxidative Stress-Induced S100B : Enhancer of Immune Responses in Vitiligo**  
○Shuli Li, Wei Wu, Xinju Wang, Jianru Chen, Jinrong Fan, Luling Huang,  
Weiwei Sun, Chunying Li  
Department of Dermatology, Xijing Hospital, Fourth Military Medical University, Xi'an



**E3-8 (EP8-11) Dimethyl itaconate halts vitiligo depigmentation by suppressing DC-CD8<sup>+</sup> T cell responses**

○Yinghan Wang, Yuhan Chen, Jingjing Ma, Shuli Li, Chunying Li  
 Department of Dermatology, Xijing Hospital, Fourth Military Medical University (Air Force Military Medical University), Xi'an

**Oral Presentation in English 4**

15:10~16:10

**Diagnosis, Inflammatory disease, Infectious disease**

.....Chairs : Takehiro Takahashi (Tohoku University)  
 Seitaro Nakagawa (Osaka University)

**E4-1 (EP6-2) Inflammatory myopathy following COVID-19 mRNA vaccination in a patient with VEXAS syndrome**

○Masakazu Kakurai<sup>1)</sup>, Rie Honda<sup>1)</sup>, Akihiro Kuroda<sup>2)</sup>, Naomi Tsuchida<sup>3,4,5)</sup>,  
 Ayaka Maeda<sup>5)</sup>, Yuri Uchiyama<sup>3,4)</sup>, Naomichi Matsumoto<sup>3)</sup>, Shusaku Ito<sup>1)</sup>  
 Division of Dermatology, Hitachi General Hospital, Hitachi<sup>1)</sup>, Division of Hematology,  
 Hitachi General Hospital, Hitachi<sup>2)</sup>, Department of Human Genetics, Yokohama City  
 University Graduate School of Medicine, Yokohama<sup>3)</sup>, Department of Rare Disease  
 Genomics, Yokohama City University Hospital, Yokohama<sup>4)</sup>, Department of Stem Cell  
 and Immune Regulation, Yokohama City University Graduate School of Medicine,  
 Yokohama<sup>5)</sup>

**E4-2 (EP6-5) Burdock-derived Arctiin may alleviate psoriatic symptoms via PI3K-Akt signaling pathway**

○Mengyao Yang<sup>1,2,3)</sup>, Tao Wang<sup>4)</sup>, Xuefei Du<sup>2,3)</sup>, Wanchen Zhao<sup>1)</sup>,  
 Alafate Abudouwanli<sup>1)</sup>, Quan Sun<sup>1)</sup>, Arisa Ikeda<sup>1,5)</sup>, Ge Peng<sup>1)</sup>,  
 Francois Niyonsaba<sup>1,6)</sup>, Long Geng<sup>2,3)</sup>  
 Atopy (Allergy) Research Center, Juntendo University Graduate School of Medicine,  
 Tokyo<sup>1)</sup>, Department of Dermatology, The First Hospital of China Medical University,  
 Shenyang<sup>2)</sup>, NHC Key Laboratory of Immunodermatology, Ministry of Education Key  
 Laboratory of Immunodermatology, National Joint Engineering Research Center for  
 Diagnosis and Treatment of Immunologic Skin Diseases, The First Hospital of China  
 Medical University, Shenyang<sup>3)</sup>, Department of Urology, The People's Hospital of  
 Liaoning Province, Shenyang<sup>4)</sup>, Department of Nephrology, Juntendo University  
 Graduate School of Medicine, Tokyo<sup>5)</sup>, Faculty of International Liberal Arts, Juntendo  
 University, Tokyo<sup>6)</sup>

**E4-3 (EP6-6) AMP-IBP5 Attenuates Psoriatic Symptoms via LRP1 Signaling**

○Ge Peng<sup>1)</sup>, Saori Yoshida<sup>1)</sup>, Lixia Cui<sup>2)</sup>, Wanchen Zhao<sup>1)</sup>, Alafate Abudouwanli<sup>1)</sup>,  
 Quan Sun<sup>1)</sup>, Ko Okumura<sup>1)</sup>, Hideoki Ogawa<sup>1)</sup>, Shigaku Ikeda<sup>1)</sup>, Francois Niyonsaba<sup>1,3)</sup>  
 Atopy (Allergy) Research Center, Juntendo University Graduate School of Medicine,  
 Tokyo<sup>1)</sup>, Department of Dermatology, the Second Affiliated Hospital of Hainan Medical  
 University, Hainan<sup>2)</sup>, Faculty of International Liberal Arts, Juntendo University,  
 Tokyo<sup>3)</sup>

**E4-4 (EP11-2) Influence of Risk Factors and Therapies on Prognosis of Herpes Zoster**

○Marika Matsuya<sup>1)</sup>, Motoshi Sugawara<sup>2)</sup>, Takeshi Iwasaki<sup>3)</sup>, Motoshi Kinouchi<sup>1)</sup>  
 Department of Dermatology, Asahikawa Red Cross Hospital, Asahikawa<sup>1)</sup>,  
 Department of Dermatology, Asahikawa Medical University, Asahikawa<sup>2)</sup>, Nishino  
 Dermatology Clinic, Sapporo<sup>3)</sup>

- E4-5 (EP2-5) Monocyte-to-Lymphocyte Ratio and Eosinophils-to-Lymphocyte Ratio for Scabies diagnosis**  
○Ha Thi Thao Mai<sup>1)</sup>, Nguyen Hoang Viet<sup>2)</sup>, Espinoza Luis<sup>3)</sup>  
Faculty of Medicine, Can Tho University of Medicine and Pharmacy, Can Tho<sup>1)</sup>, Hanoi Medical University, Hanoi<sup>2)</sup>, Faculty of Health Sciences, Kanazawa University, Kanazawa<sup>3)</sup>
- E4-6 (EP6-4) Schnitzler syndrome with an immunoglobulin A gammopathy exacerbated by COVID-19 infection**  
○Yasuaki Ikuno, Toshifumi Takahashi, Takuya Nagata, Shuji Sugiura, Akihiko Yamaguchi, Noriki Fujimoto  
Department of Dermatology, Shiga University of Medical Science, Otsu
- E4-7 (EP11-1) Disseminated Mucocutaneous Leishmaniasis Coinfected by Two Distinct Species**  
○Yuki Kobayashi<sup>1)</sup>, Takeshi Ouchi<sup>1)</sup>, Takashi Okada<sup>2)</sup>, Kenta Kobayashi<sup>1)</sup>, Haruka Omasa<sup>1)</sup>, Takayuki Fusumae<sup>1)</sup>, Sayuka Arakawa<sup>1)</sup>, Chizu Sanjoba<sup>3)</sup>, Yasuyuki Goto<sup>3)</sup>, Takeru Funakoshi<sup>1)</sup>  
Department of Dermatology, Keio University School of Medicine, Tokyo<sup>1)</sup>, Department of Otorhinolaryngology, Keio University School of Medicine, Tokyo<sup>2)</sup>, Laboratory of Molecular Immunology, Department of Animal Resource Sciences, Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, Tokyo<sup>3)</sup>
- E4-8 (EP2-2) Clinical and Immunological profiles of BP180 NC16A CLEIA false negative case of Pemphigoid**  
○Masahiro Tsutsumi<sup>1)</sup>, Hiroshi Koga<sup>1)</sup>, Kwesi Teye<sup>2)</sup>, Norito Ishii<sup>1)</sup>, Takekuni Nakama<sup>1)</sup>  
Department of Dermatology, Kurume University School of Medicine, Kurume<sup>1)</sup>, Kurume University Institute of Cutaneous Cell Biology, Kurume<sup>2)</sup>

第1日目
6月6日(木)
第10会場
1F アネックスホール 2

教育講演 7
9:00~11:00

**こんなに変わった！血管腫血管奇形・下肢静脈瘤の最新治療**

.....オーガナイザー：藤田 英樹（日本大）  
神人 正寿（和歌山県立医大）

[レベル：Basic／Advanced]

- EL7-1. 下肢静脈瘤・静脈性下腿潰瘍の最新治療戦略 up date**  
 9:00~9:30 前川 武雄〈まえかわ たけお〉  
 自治医科大学附属さいたま医療センター皮膚科
- EL7-2. 最新ガイドラインに基づく乳児血管腫の治療の考え方**  
 9:30~10:00 栗野 嘉弘〈くわの よしひろ〉  
 帝京大学医学部附属溝口病院皮膚科
- EL7-3. 難治性脈管腫瘍・脈管奇形に対するシロリムス治療**  
 10:00~10:30 小関 道夫〈おぜき みちお〉  
 岐阜大学大学院医学系研究科小児科学
- EL7-4. 血管腫血管奇形の漢方治療 リンパ管奇形を中心に**  
 10:30~11:00 小川 恵子〈おがわ けいこ〉  
 広島大学病院漢方診療センター

ランチョンセミナー 7
11:15~12:15

**アトピー性皮膚炎患者の疾病負荷に対し、目指すべき治療Goalとは！**

.....座長：矢上 晶子（藤田医大ばんだね病院）

- LS7-1. 小児科からみる思春期のアトピー性皮膚炎**  
 長尾みづほ〈ながお みづほ〉  
 国立病院機構三重病院臨床研究部
- LS7-2. かゆみのメカニズム：アトピー性皮膚炎における JAK 阻害剤の作用点とポジショニング**  
 中島沙恵子〈なかじま さえこ〉  
 京都大学大学院医学研究科・炎症性皮膚疾患創薬講座

共催：ファイザー株式会社

## 教育講演 13

14:10~16:10

## 明日からの皮膚外科診療に活かそう！～エキスパートから学ぶ皮膚外科学の

ABC～.....オーガナイザー：松下 茂人（鹿児島医療センター）

藤本 徳毅（滋賀医大）

【レベル：Basic／Advanced】

**EL13-1. 皮膚外科学の基礎知識**

14:10~14:35 前川 武雄〈まえかわ たけお〉  
自治医科大学附属さいたま医療センター皮膚科

**EL13-2. 顔面における局所皮弁再建の Tips—基礎と応用—**

14:35~15:00 高木 信介〈たかぎ しんすけ〉  
昭和大学形成外科学

**EL13-3. リンパ節へのアプローチ（動画あり）**

15:00~15:25 緒方 大〈おがた だい〉  
国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科

**EL13-4. 皮膚外科手術の合併症・トラブル回避と周術期管理**

15:25~15:50 加藤 裕史〈かとう ひろし〉  
公立大学法人名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学

15:50~16:10 質疑+総合討論

## 第1日目 6月6日(木) 第11会場 Room157

## 一般演題 5

9:00~10:00

血管炎, 膠原病, 自己免疫, 軟部組織肉芽腫……………座長: 大谷 稔男 (倉敷中央病院)  
岸部 麻里 (旭川医大)

- O5-1 (P17-4) 当科において経験した Sweet 病の再検討と VEXAS 症候群の可能性**  
佐藤 真由 (さとう まゆ), 山本 俊幸  
福島県立医科大学
- O5-2 (P16-2) 東北大学病院皮膚科におけるトシリズマブ治療中の全身性強皮症患者についての後方視的解析**  
瀬川雄一朗 (せがわ ゆういちろう), 高橋 岳浩, 山本 淳, 高橋 拓也,  
照井 仁, 井川 徹也, 高橋 隼也, 浅野 善英  
東北大学大学院医学系研究科皮膚科学分野
- O5-3 (P16-5) 抗 NXP-2 抗体陽性の皮膚筋炎患者における抗体価と病勢の相関についての検討**  
湯浅 智子<sup>1)</sup> (ゆあさ さとこ), 齋藤 健太<sup>1)</sup>, 岩田 洋平<sup>1)</sup>, 室 慶直<sup>2)</sup>,  
杉浦 一充<sup>1)</sup>  
藤田医科大学皮膚科<sup>1)</sup>, 名古屋大学皮膚科<sup>2)</sup>
- O5-4 (P16-7) 抗セントロメア抗体陽性の全身性強皮症に合併したびまん浸潤型皮膚サルコイドーシスの 1 例**  
石塚友記子 (いしづか ゆきこ), 高橋 岳浩, 浅野 善英  
東北大学大学院医学系研究科皮膚科学分野
- O5-5 (P16-8) 横浜市大附属病院における足部潰瘍を合併した全身性強皮症 22 例の臨床的特徴の解析**  
茂木いづみ<sup>1)</sup> (もてき いづみ), 渡邊 友也<sup>1)</sup>, 村田 智孝<sup>1)</sup>, 熊谷 晴菜<sup>1)</sup>,  
今井 紗綾<sup>1)</sup>, 川村 飛翔<sup>1)</sup>, 乙竹 泰<sup>1)</sup>, 高村 直子<sup>1)</sup>, 金岡 美和<sup>2)</sup>, 山口 由衣<sup>1)</sup>  
横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学<sup>1)</sup>,  
横浜市立大学附属市民総合医療センター<sup>2)</sup>
- O5-6 (P10-8) 直接経口抗凝固薬の併用によりステロイド内服を終了できたリベド血管症と皮膚動脈炎**  
鈴木 大介<sup>1,2)</sup> (すずき だいすけ), 阿部 郁子<sup>2)</sup>  
国際医療福祉大学市川病院皮膚科<sup>1)</sup>, あべメディカルクリニック<sup>2)</sup>
- O5-7 (P16-4) TNF 阻害薬による薬剤性亜急性皮膚エリテマトーデスの 1 例**  
西村健太郎<sup>1)</sup> (にしむら けんたろう), 長谷川 巧<sup>1)</sup>, 知野 剛直<sup>1)</sup>, 尾山 徳孝<sup>1)</sup>,  
長谷川 稔<sup>1)</sup>, 廣田 智哉<sup>2)</sup>  
福井大学皮膚科<sup>1)</sup>, 福井大学感染症・膠原病内科<sup>2)</sup>
- O5-8 (P10-9) 壊死性強膜炎を発症した関節リウマチ患者の持久性隆起性紅斑**  
佐藤 雄志 (さとう ゆうし), 吉田 愛, 奥澤 愛美, 奥野 聡, 端本 宇志,  
佐藤 貴浩  
防衛医科大学校皮膚科

## 主催校企画 1

10:00～11:00

皮膚科研究最前線part 1 .....座長：錦織千佳子（兵庫県赤十字血液センター）  
中島沙恵子（京都大）

- SP1-1.**     **Diagnosis and Targeted Treatment of Inflammatory Skin Diseases Guided by Immune Expression Modules**  
10:00～10:30     Michel Gilliet  
Department of Dermatology, Lausanne University Hospital CHUV, Switzerland
- SP1-2.**     **Keratinocyte cancers : Rational management based on pathogenesis**  
10:30～11:00     Kiarash Khosrotehrani  
The University of Queensland Frazer Institute, Australia

## ランチョンセミナー 8

11:15～12:15

皮膚悪性腫瘍における薬物療法のアップデート

.....座長：山崎 直也（国立がん研究センター中央病院）  
竹之内辰也（新潟県立がんセンター新潟病院）

- LS8-1.**     **上皮系皮膚悪性腫瘍における新治療～ニボルマブがもたらす変化～**  
船越 建〈ふなこし たける〉  
慶應義塾大学医学部皮膚科
- LS8-2.**     **オブジーボ承認 10年で見えてきたメラノーマ薬物療法の新境地**  
並川健二郎〈なみかわ けんじろう〉  
国立がん研究センター中央病院皮膚腫瘍科

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

## 教育講演 14

14:10～16:10

尋常性白斑アップデート .....オーガナイザー：鈴木 民夫（山形大）  
河野 通浩（秋田大）

[レベル：Advanced]

- EL14-1. 白斑は癌にならない？**  
 14:10～14:35 佐野 栄紀〈さの しげとし〉  
 高知大学
- EL14-2. ヘアレス白斑モデルマウスの有用性および今後の展望**  
 14:35～14:55 岡村 賢〈おかむら けん〉, 鈴木 民夫  
 山形大学皮膚科
- EL14-3. 白斑治療薬としての JAK 阻害薬**  
 14:55～15:20 井上紳太郎〈いのうえ しんたろう〉  
 岐阜薬科大学化粧品健康学講座
- EL14-4. 外科治療を含めた治療について**  
 15:20～15:45 種村 篤〈たねむら あつし〉  
 大阪大学大学院医学系研究科皮膚科
- EL14-5. 改定中の尋常性白斑診療ガイドラインについて**  
 15:45～16:10 大磯 直毅〈おおいそ なおき〉  
 近畿大学奈良病院皮膚科

## イブニングセミナー 5

17:50～18:50

円形脱毛症治療 up to date .....座長：原田 和俊（東京医大）  
植木 理恵（順天堂大）

- ES5-1. 「円形脱毛症のふしぎ」はどこまで病態説明できるのか？**  
 伊藤 泰介〈いとう たいすけ〉  
 浜松医科大学皮膚科学講座
- ES5-2. Real World Data から考える重症円形脱毛症治療の考え方**  
 大山 学〈おおやま まなぶ〉  
 杏林大学医学部皮膚科学教室

共催：日本イーライリリー株式会社

## 第1日目 6月6日(木) 第12会場 B2F プリンスホール

## 教育講演 8

9:00~11:00

遺伝性皮膚疾患アップデート2024 .....オーガナイザー：秋山 真志（名古屋大）  
乃村 俊史（筑波大）

[レベル：Basic/Advanced]

- EL8-1. 先天性爪甲肥厚症と類縁疾患のアップデート**  
9:00~9:30 夏賀 健〈なつが けん〉  
北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室
- EL8-2. 魚鱗癬と自己炎症性角化症の遺伝学的アプローチ**  
9:30~10:00 武市 拓也<sup>1,2)</sup>〈たけいち たくや〉  
名古屋大学大学院医学系研究科皮膚科<sup>1)</sup>, 名古屋大学高等研究院<sup>2)</sup>
- EL8-3. 表皮水疱症のアップデート**  
10:00~10:30 新熊 悟〈しんくま さとる〉  
奈良県立医科大学皮膚科
- EL8-4. 遺伝性毛髪疾患 update**  
10:30~11:00 林 良太〈はやし りょうた〉  
新潟大学医歯学総合病院皮膚科

## 教育講演 15

14:10~16:10

光老化を予防する~明日からの患者指導に役立つ, サンスクリーン製品の機能と  
正しい使い方~ .....オーガナイザー：森脇 真一（大阪医科薬科大）  
大島 宏（ポーラ化成工業）

[レベル：Basic/Update]

- 14:10~14:13 はじめに（日本化粧品学会について）
- EL15-1. 光老化病態形成の新しい理解**  
14:13~14:42 森脇 真一〈もりわき しんいち〉  
大阪医科薬科大学医学部皮膚科
- EL15-2. サンスクリーン製品の紫外線防御機能の表示について—実使用時における注意点**  
14:42~15:11 牟田 恵子<sup>1,2)</sup>〈むた けいこ〉  
株式会社資生堂ブランド価値開発研究所<sup>1)</sup>,  
日本化粧品工業会フォトプロテクション部会<sup>2)</sup>
- EL15-3. 紫外線防御成分とサンスクリーン製品の特徴**  
15:11~15:40 ~紫外線吸収剤, 紫外線散乱剤, 多様な剤型~  
福井 崇〈ふくい たかし〉  
花王株式会社スキンケア研究所
- EL15-4. サンスクリーン製品の光老化予防効能~新しい効能表現と啓発活動の大切さ~**  
15:40~16:09 森田 明理〈もりた あきみち〉  
名古屋市立大学大学院医学研究科加齢・環境皮膚科学
- 16:09~16:10 終わりに



第1日目 6月6日(木) 第13会場 B2F ゴールドルーム

**教育講演 9** 9:00～11:00

**虫と皮膚病～まず虫の生態を知ることから始めよう！～**

.....オーガナイザー：夏秋 優（兵庫医大）  
清水 晶（金沢医大）

[レベル：Advanced]

- EL9-1. ハエの驚異的な能力および人との関係**  
 9:00～9:30 沼田 英治〈ぬまた ひではる〉  
 京都大学
- EL9-2. 日本の衛生害虫防除の実際**  
 9:30～10:00 橋本 知幸〈はしもと ともゆき〉  
 (一財)日本環境衛生センター環境生物・住環境部
- EL9-3. マダニの生態とヒトのマダニ刺症との関係について**  
 10:00～10:30 及川陽三郎〈おいかわ ようさぶろう〉, 望月 恒太, 村上 学  
 金沢医科大学医動物学
- EL9-4. マダニ媒介性感染症**  
 10:30～11:00 夏秋 優〈なつあき まさる〉  
 兵庫医科大学皮膚科学

**教育講演 16** 14:10～16:10

**乾癬性関節炎 Update 2024** .....オーガナイザー：朝比奈昭彦（東京慈恵会医大）  
奥山 隆平（信州大）

[レベル：Advanced]

- EL16-1. 乾癬性関節炎の病態 up to date**  
 14:10～14:40 山口 由衣〈やまぐち ゆきえ〉  
 横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学
- EL16-2. 乾癬性関節炎の診療 up to date—末梢関節炎の病態の把握とその治療戦略について—**  
 14:40～15:10 岡野 匡志〈おかの ただし〉  
 大阪公立大学大学院医学系研究科高齢者運動器変性疾患制御講座
- EL16-3. 乾癬性関節炎の診療 up to date～体軸病変について～**  
 15:10～15:40 門野 夕峰〈かどの ゆうほ〉  
 埼玉医科大学病院整形外科・脊椎外科
- EL16-4. 乾癬性関節炎の治療 up to date**  
 15:40～16:10 亀田 秀人〈かめだ ひでと〉  
 東邦大学医学部内科学講座膠原病学分野

## 第1日目 6月6日(木) ポスター展示会場 1F ニューホール

研究費ならびに研究基金受領者授与式および研究発表 16:15~17:45

座長：奥山 隆平（信州大）

## 令和6年度日本皮膚科学会基礎医学研究費（資生堂寄付）受領者授与式

皮膚上皮内における自然免疫系が担う腫瘍免疫の包括的解明

木下 真直〈きのした まなお〉

山梨大学大学院総合研究部医学域皮膚科学講座

スライシングによる表皮基底膜タンパクの多様性とその意義の解明

高島 翔太〈たかしま しょうた〉

北海道大学大学院医学研究院皮膚科

シングルセル解析を用いたIgE介在性/非介在性アナフィラキシーの病態解明

足立 剛也〈あだち たけや〉

慶應義塾大学医学部皮膚科学教室

皮膚の有棘細胞癌におけるPRAME発現の有無による予後の推定

大石 京介〈おおいし きょうすけ〉

金沢大学医薬保健研究域医学系皮膚科学

Immunoprecipitation-liquid chromatography-tandem mass spectrometryを用いた自己抗原の網羅的解析

桃原真理子〈ももはら まりこ〉

名古屋大学医学部附属病院皮膚科

生理活性脂質スフィンゴシン1リン酸のアトピー性皮膚炎における特徴的なシグナル経路とその役割の解明

山村 和彦〈やまむら かずひこ〉

九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野

## 令和6年度日本皮膚科学会炎症性皮膚疾患研究費（アッヴィ助成）受領者授与式

糖尿病治療薬が水疱性類天疱瘡を引き起こす機序の解明

氏家 英之〈うじいえ ひでゆき〉

北海道大学大学院医学研究院皮膚科学教室

## 令和6年度日本皮膚科学会皮膚医学研究基金（ロート製薬寄付）受領者授与式

ロリクリンによる獲得免疫調節機構の解明

石塚 洋典〈いしつか ようすけ〉

大阪大学大学院医学系研究科皮膚免疫疾患治療学共同研究講座

炎症性皮膚疾患の次世代治療開発：AIと臨床ビッグデータの融合

酒井 貴史〈さかい たかし〉

大分大学医学部皮膚科学講座

## 令和5年度日本皮膚科学会基礎医学研究費（資生堂寄付）受領者研究発表

## SH-1. 重症薬疹の病態解明と新規バイオマーカーの開発

長谷川瑛人〈はせがわ あきと〉

新潟大学医歯学総合病院皮膚科

- SH-2. 皮膚創傷治癒を制御するエピジェネティクス因子の探索**  
渡邊 美佳〈わたなべ みか〉  
北海道大学医学研究院皮膚科学教室
- SH-3. DOHaD 研究モデルを用いたアトピー性皮膚炎の超早期ライフステージからの機序解明**  
加藤 雪彦<sup>1)</sup>〈かとう ゆきひこ〉, 柳井 千穂<sup>1)</sup>, 向 亮<sup>2)</sup>, 梅林 芳弘<sup>1)</sup>,  
黒川 李奈<sup>3)</sup>, 須田 互<sup>3)</sup>, 松田 浩珍<sup>2)</sup>, 田中あかね<sup>2)</sup>  
東京医科大学八王子医療センター皮膚科<sup>1)</sup>, 東京農工大学獣医分子病態治療学研究室<sup>2)</sup>,  
理化学研究所生命医科学研究センター共生微生物叢研究チーム<sup>3)</sup>
- SH-4. 全身性強皮症におけるリツキシマブに除去抵抗性の B 細胞の単一細胞解析**  
久住 藍〈くずみ あい〉  
東京大学大学院医学系研究科皮膚科学
- SH-5. inducible Skin-associated lymphoid tissue (iSALT) における腸型 B 細胞の機能解析**  
小亀 敏明〈こがめ としあき〉, 滝嶋 宏章, 小松 貴義, 畑 昭宇, 椛島 健治  
京都大学大学院医学研究科皮膚科学
- SH-6. 神経線維腫症 I 型における, 臨床型別の腫瘍微小環境と T 細胞の相互作用の検討**  
吉岡 華子〈よしおか はなこ〉  
大阪大学大学院医学系研究科皮膚科寄附講座

#### 令和 5 年度日本皮膚科学会炎症性皮膚疾患研究費（アツヴィ助成）受領者研究発表

- AB. サルコイドーシス肉芽腫形成におけるエネルギー代謝経路の同定**  
中溝 聡<sup>1,2)</sup>〈なかみぞ さとし〉, 杉浦 悠毅<sup>3)</sup>, 石田 雄大<sup>2)</sup>, 椛島 健治<sup>2)</sup>  
京都大学大学院医学研究科先端医療基盤共同研究講座<sup>1)</sup>,  
京都大学大学院医学研究科皮膚科<sup>2)</sup>,  
京都大学大学院医学研究科がん免疫総合研究センター<sup>3)</sup>

#### 令和 4 年度日本皮膚科学会皮膚医学研究基金（ロート製薬寄付）受領者研究発表

- RT-1. 皮膚免疫担当細胞の遊走を制御する新規脂質関連受容体の探索**  
住田 隼一<sup>1,2,3)</sup>〈すみだ はやかず〉  
東京大学大学院医学系研究科皮膚科学<sup>1)</sup>, 東京大学医学部附属病院強皮症センター<sup>2)</sup>,  
東京大学医学部附属病院SLEセンター<sup>3)</sup>
- RT-2. X 染色体の不活性化機構を応用した細胞競合モデルマウスの作製**  
新熊 悟〈しんくま さとる〉  
奈良県立医科大学皮膚科

#### 令和 5 年度日本皮膚科学会基礎研究助成（ノバルティスファーマ寄付）受領者研究発表

- NV-1. 皮膚免疫を基盤とした全身性強皮症における多臓器線維化メカニズムの解析**  
浅野 善英〈あさの よしひで〉, 井川 徹也, 照井 仁, 高橋 岳浩  
東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座皮膚科学分野
- NV-2. 単一細胞解析の情報と連携させた新しい天疱瘡の病勢評価法の開発**  
山上 淳〈やまがみ じゅん〉  
東京女子医科大学皮膚科
- NV-3. 白斑真皮の抗酸化能獲得に関する研究**  
種村 篤〈たねむら あつし〉  
大阪大学大学院医学系研究科皮膚科